四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート

【令和6年度(下半期)】

1	連携分野	• • • • • • • 1
2	農業分野	• • • • • • • 9
3	林業分野	• • • • • • • • 15
4	水産業分野	• • • • • • • 19
5	商工業分野	• • • • • • • 22
6	観光分野	• • • • • • • 26

1 1 1 -	ーマ クションプラン 主な内容	R6年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	定量的な目標 到達点(R 6) 実積(直近)	備考 (定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)概	要
	地消の促進						
	地域産品の利用と販売促進		T				
	直携AP 1 】 地域産品の利用と販売促進						
	《農業14、林業15、水産12、商工4》 ○地元農畜産物の公共施設での利用促進 《農業14、18》 ○有機農産物の流通促進 《連携8、農業16》 ○木造住宅建築への支援《林業14》 ○木村流通ネットワークの構築とコーディネイト組織の設立 《林業13、14》 ○木造化、木質化への情報発信、普及・啓発の強化 《林業15》 ○林地残材等の搬出の促進 《林業16》 ○木質バイオマスボイラー等の普及促進 《林業17》 ○漁協の販売機能の強化	 ○地域商社「㈱西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業・毎月の広報誌により旬な食材等PR ○西土佐地域産業振興推進協議会(毎月開催) ・ナスフェス(8月:道の駅)で米ナスメニューPR ・西土佐地域12店舗で米ナスメニューの普及 (ガブッと米ナスキャンペーン8月~9月) ・しまんと西土佐あゆフェス(6月:道の駅)で鮎の食べ方PR ・HPでの情報発信 ・西土佐うまいもの商店街(10月) ○西土佐地域地産地消推進協議会(6月、2月)公共施設への供給体制整備と年間計画の策定 ○市産材利用促進事業申請件数:23件(見込) ○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施宿泊者:64組、延べ289人見学者:147人(12月末現在) ○林地残材の搬出促進バイオマス証明書発行4件 ○フェア等の開催・参加・「幡多山もりフェス2024」開催支援 	四万十市(農林水産課・観光商工課・産業建設課)関係団体・組織事業者生産者			【農業分野】 〇農産物ブランド化事業(しまんと農法米普及促進) ・東京・大阪での物産展・販売会等に参加 〇西土佐地域地産地消推進協議会の開催 ・公共施設への食材提供、地元食材の利用拡大について協議 【林業分野】 〇四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金 ○幡多地域森づくり推進センター負担金 ・集積計画(案)の作成、森林整備(間伐等)事業費の積算、仕様書作成 〇市産材利用促進事業 ・補助金年間利用件数見込み:20件 〇宿泊体験型モデルハウス管理費 ・「四万十ヒノキの家」の見学、宿泊体験実施 〇フェア等の開催 ・「幡多山もりフェス2025」開催支援 【商工業分野】 〇地産外商促進事業(西土佐地域出店関係) ・ふるさとまつり、枚方物産展、旭川マルシェ等	512千円 - 200千円 5, 190千円 20, 000千円 318千円 - 771千円
	直携AP2】 地域産品の販売拠点づくり						
	O市内量販店等を拠点とした販路拡大 《農業14》	○商店街等活性化事業(モデル事業) 土佐中村一條公家行列「藤まつり」開催(5月) (実施主体:中村商工会議所)	四万十市 (企画広報課・農林水 産課・観光商工課・産	H27~H30平均:5,338人/日	lකි.	【商工業分野】 〇商店街活性化モデル事業(中村商工会議所) ・公家行列及び地域産品の販売PRを支援	900千円
	②新たな拠点(旧土豫銀行跡地)による情報発信の強化と賑わいの創出 《連携8、商工10》	〇商店街等活性化事業 商店街振興組合イベント(納涼祭等)開催支援(8月)	業建設課) 関係団体・組織	R 2:5,824人/日 R 3:4,743人/日	◆地域内外へ大室米の認知度向上や販	○商店街活性化補助金(各商店街振興組合)○中心市街地にぎわい拠点施設維持管理事業	500千円 2, 755千円
		(実施主体:天神橋・東下町・中村一条通 各商店街振興組合) 〇中心市街地にぎわい拠点施設維持管理事業 (実施主体:四万十にぎわい商店株式会社)	事業者生産者	R4:4,359人/日 R5:5,859人/日 ◆農林水産物等直販所販売		・公共部分(公園・トイレン)に係る維持管理費を補助 〇地域おこし協力隊経費(中心市街地活性化1名) 〇新食肉センター整備推進事業	4, 378千円
	D直販所の拠点機能の強化 《農業15》 	〇中心商店街等活性化事業		▼辰怀小庄彻寺但规则规冗 額		- 新食肉センター整備補助金	220, 567千円
	②道の駅「よって西土佐」の機能拡充 《連携8、農業15、商工18》	・拠点施設を核とした商店街活性化の協議(毎月) ・商店街広報誌作成		H29:13億1,200万円 → R6:15億円		・一般社団法人四万十食肉公社への負担金 ・新センター用地購入費等	4,383千円 5,426千円
	O拠点ビジネスの推進 《商工18》 	・活性化イベント はれのぱマルシェ (4月、6月、8月、10月、12月、2月予定) (実施主体:四万十にぎわい商店株式会社)		H31:13億4,800万円 R2:11億9,800万円		・一般社団法人四万十食肉公社への基金拠出(出資金) 〇地域おこし協力隊経費	26,000千円 4,743千円
	〇新食肉センターの整備・新食肉セン ターを核とした地域産業の振興 《商エ5》	・活性化イベント 中心商店街スタンプラリー (11月) (実施主体:四万十市商店街振興組合連合会女性部) 〇地域おこし協力隊事業		R3:12億1,700万円 R4:12億5,200万円 ◆道の駅「よって西土佐」		(西土佐商工会:地域活性化1名) ★地域おこし協力隊経費(市場活性化1名) 〇地域おこし協力隊経費	4, 888千円
		・商店街リーダー育成、啓発 リーダーシップセミナー開催(12月、1月、2月) マーケティングセミナー開催(1月、2月) 〇よさこい四万十開催(9月) 〇しまんとリバーベキュープロジェクト ・道の駅よって西土佐、星羅四万十を拠点とした取組の推進 ・JBBQA初級検定、クッキングクラス講習(9月) ・JBBQA中級検定(10月) ・ジャッジクラス講習、SCAAステーキコンテスト(12月) ・ONSENガストロノミーウォーキング(3月)		入込客数 H30:18万6,924人 → R6:20万人 R2:15万6,012人 R3:16万1,182人 R4:17万3,517人 R5:17万4,725人		(BBQ普及推進1名) 〇よさこい四万十事業費補助	4, 348千円 1, 500千円

	甲座未派央計画 アフノョフノブ	フに沙自垤ノート 【节和0千度】	1	1	1	T	
施	-	R6年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	定量的な目標 到達点(R 6)	備考 (定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)概要	
	アクションプラン	W		実積(直近)			
	主な内容						
連携分	野						
		 ○集落活動センター事業(大宮集落活動センターみやの里) 4月~ 軽食・配食サーピス、弁当販売(加工販売部会) ・大宮米の外商拡大:アドバイザー導入(5/16)、 ふるさと納税(R4.8月~)、都市圏の販売計画 ○直販所の拠点機能強化 ・JAグリーン:販促活動の強化(販促チラシ、イベント開催(2回)) ○新食肉センター整備推進事業 ・関係自治体・団体等で構成する検討会(4月、6月、7月) ・一般社団法人四万十食肉公社設立(7月) ・事業者選定プロポーザル公告(8月) ・関係自治体にて関連予算の成立(9月、10月) ・関係自治体との整備費負担割合等の協定締結(10月) ・四万十食肉公社へ職員派遣(11月) ・事業者選定プロポーザル二次審査、事業者非選定(11月) ・概算事業費のサウンディング調査等の実施(12月~2月) ・関係自治体との整備費負担について再協議(3月) 		◆大宮米販売実績 R2:4,775,720円 R3:4,687,835円 R3:4,687,835円 R4:4,397,969円 R5:7,128,488円			
1.	也産外商の推進 商品開発と磨き上げ						
	【連携AP3】 (1) 地元農畜産物を使った商品開発						
		〇ぶしゅかん産地化・普及推進事業	四万十市	◆ぶしゅかん新植面積	◆四万十ブランドの確立や加工商品開	【農業分野】	
	《農業16》	・ぶしゅかん産地化推進業務委託(四万十ぶしゅかん生産者組合)	(農林水産課・観光商	H30:10.9ha → R6:25ha	発による高付加価値化が図られ、安定	Oぶしゅかん普及推進事業 1	1, 150千円
	◎40010日プロジェクト	・地域おこし協力隊(通年:販促・PR業務など)	工課・産業建設課)	R 2:13. 0ha R 3:13. 6ha	した農業経営につながっている	新規定植(苗代への補助) 900本 180a	
	《農業16》	・新規定植(苗代への補助)	J A高知県	R4:14.9ha R5:15.1ha		▶ 有害鳥獣対策用防護柵(設置費補助) 100m	
	 ★新食肉センター整備に伴う養豚場の	• 有害鳥獸対策用防護柵(設置費補助)	事業者	◆ぶしゅかん生産量		• 産地化推進事業業務委託	
	整備促進	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1	H30:28.1t → R6:81t			
			生産者			○ぶしゅかん生産量の把握	_
		〇ぶしゅかん栽培現地検討会・目慣らし会(8月22日)		R2:26.7t R3:29.1t		・市内栽培面積、生産量の把握、青玉の流通	
		栽培管理指導、巡回指導等、植え付け・剪定講習会 (2月15日予定)		R4:19.7t R5:40.5t		〇四万十ぶしゅかん㈱を主体に商談会等へ参加	237千円
	業振興	〇四万十ぶしゅかん㈱を主体に各種商談会、展示会、物産展等での販路開拓・販売促進		R6:21.7t		〇農産物ブランド化事業(しまんと農法米普及促進)	【512千円】
	《農業16、商工18、観光4》	活動を展開		◆ゆず栽培面積		 ・東京・大阪での物産展・販売会等に参加	
	〇地元農畜産物を使った商品の開発	・仲卸会社(東京)、製薬会社(東京)、市内旅館等		H30:44.0ha → R 6:45ha		・アンテナショップを活用し試食販売会等を実施	
				R2:44. 1ha R3:44. 1ha			
		〇ぶしゅかん生産量の把握				〇道の駅よって西土佐での商品開発推進 -	
	〇意欲的な生産者への支援	・市内栽培面積、生産量の把握、青玉の流通		R4:44.1ha R5:44.1ha		(実施主体:(㈱西土佐ふるさと市)	
	《農業17》	〇栗暮プロジェクト		◆ゆず生産量			,064千円】
		西土佐橘地区栗実証農園運営(農業公社へ運営委託)		H27-H30平均∶431.5t/年		・栗園モデル事業、苗木補助、平場新植推進	
		・水田転換推進業(排水対策工事) 計画:0.6ha(2月末時点0.05ha)		→ R6:445t			
		・新改植推進事業(苗木補助) 計画:1,100本(2月末時点186本)		R2:541.0t R3:558.0t		【商工業分野】	
		〇露地作付面積日本一米ナスを活用した地域活性化事業		R4:476.4t R5:639.4t		○道の駅よって西土佐での商品開発推進	_
		(西土佐地域産業振興推進協議会)		 ◆栗栽培面積		 (実施主体:㈱西土佐ふるさと市)	
		・HPでの情報発信		H30:48ha → R 6:60ha		〇露地作付面積日本一米ナスを活用した地域活性	
		・産地としての競争力強化と販路拡大(JAとの連携)		R 2 : 52. 2ha R 3 : 55. 0ha		化事業(西土佐地域産業振興推進協議会)	I
							_
		〇しまんと100年 40010日プロジェクト		R 4 : 58. 6ha R 5 : 60. 2ha		- 販促、広告宣伝等実施	
		・しまんと農法米普及促進		R 6:61.0ha			
		・具同小学校・利岡小学校でしまんと農法米の学習等		◆栗生産量			
		具同小学校 四万十川清流保全基金寄付金贈呈式		H27-H30平均:23.5t/年			
		・酒米吟の夢 しまんと農法米参入		R2:18.3t R3:21.0t			
		・東京都での催事出展 東京アンテナショップ試食会開催		R4:17.2t R5:18.0t			
		・しまんと農法米(JA・富山酒米生産部) 四万十清流保全基金寄付金贈呈式		R6:15.5t			
		・枚方友好・交流都市物産展 出展		│ ◆米ナス栽培面積			
		・大阪府での催事出展 関西アンテナショップ試食会開催		H30:504a → R6:490a			
		・協同組合フェスタ(高知市)出展		R 2:452a R 3:434a			
		〇道の駅よって西土佐での商品開発推進(㈱西土佐ふるさと市)		R4:406a R5:350a			
		バーベキュー関連商品 他	1	R 6:335a	I .	1	

カーの性表版製計画 アクションフラ 野	/ ノにからたノ I NIAHO 十尺』		T			
重携テーマ	R6年度の取り組み状況		定量的な目標	備考		-
施策	〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(R6)	(定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)概要	₹
アクションプラン	,,,, <u>—</u> ,,,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		実積(直近)			
主な内容						
馬分野						
	〇しまんとリバーベキュープロジェクト【再掲】		◆米ナス生産量			
	(農林水産物の活用、商品開発、観光誘客など)		H30:260t → R6:359t			
	│ │ ・道の駅よって西土佐、星羅四万十を拠点とした取組の推進		R2:274.1t R3:289.3t			
	・JBBQA初級検定、クッキングクラス講習(9月)		R4:232.8t R5:224.2t			
	- JBBQA中級検定 (10月)		R6:193.1t			
			1			
	・ジャッジクラス講習、SCAAステーキコンテスト(12月)		◆しまんと農法米栽培面積			
	・ONSENガストロノミーウォーキング(3月)		H30:10. 22ha → R6:20ha			
	〇養豚場候補地の選定(随時)		R 2:17. 59ha R 3:19. 65ha			
	候補地調査等の継続		R 4 : 18. 53ha R 5 : 8. 90ha			
			R 6:13. 30ha			
			◆しまんと農法米生産量			
			H30:33.2t → R6:80t			
			R2:52.8 t R3:74.8 t			
			R4:65.6t R5:30.9t			
			R6:45.3t			
			◆一次産品等を活かした新商品			
			の開発(農畜産物加工品以外を			
			含む) H30:117/テム			
			→ R6:307行4/5年			
			1			
			R2:117/74 R3:107/74			
			R4:87174 R5:137174			
【連携AP4】						
(2)四万十ヒノキ製品の商品力強化				A [mT]	8	
	〇「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施【再掲】	四万十市	VIIII III SCHOOL ALIANIII	◆「四万十ヒノキ」としての知名度が 向上、ヒノキ制品の生産が拡大して	、 【林業分野】 -	
《林業18》	宿泊者:64組、延べ289人 見学者:147人(12月末現在)	(農林水産課)	額等	いる	○ ○	【319千円】
	〇四万十ヒノキブランド化推進協議会	森林組合	H29:8億496万円		・「四万十ヒノキの家」で見学、宿泊体験実施	
│ │ ○木材・木工製品の生産拡大・商品力	・四万十ヒノキについてパンフレット等でPR	四万十ヒノキブランド	→ R6:9億円		〇四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金【再掲】	【200千円】
の強化 《林業12、19》	・80ヒノキ(大口径ヒノキ)付加価値化の検討等	化推進協議会	R 1:8億3,656万円		・森林環境学習フェアへ出展PR予定	
	・四万十ヒノキ原木の育成・施業方法の検討	製材加工事業者	R2:7億6,951万円		〇フェア等の開催【再掲】	_
			R3:6億2,602万円		・「幡多山もりフェス2025」の開催支援	
	 ○協働の森づくり(3企業:体験交流、四万十ヒノキPR)				○協働の森づくり	316千円
	間伐体験:㈱清流メンテナンス、浅野アタカ㈱、日鉄エンジニアリング㈱				・3企業:体験交流、四万十ヒノキPR	0.011.
 【連携AP5】	同及作成、高が内がレンファンス、及主アアの高が、自致エンシーアアンプ語が				○ 正来・ 体験 久が、 口の 「 こ	
(3) 水産物の高付加価値化						
〇品質管理の向上 《水産9》	□ ○ 生産工程の均一化と品質管理(四万十川下流漁業協同組合)	四万十市	▲一次産品室を活かした転	◆安定した品質が確保され、販売額の		
○商品力の強化 《水産9》	・生産工程マニュアルによるアオサ、スジアオノリの生産工程の均一化と品質管理を継続			▼女正しに面員が確保され、販売額の 増加につながっている	ή	
○未利用資源等の掘起しと利活用	工法工程、工作の のが ハル が か 工法工程 ひり おと 間 英音工 と 心心	工課・産業建設課)	品以外を含む)			
		漁業協同組合	H30:117474			
《連携10、水産10》			1			
〇新たな商品の企画・開発の支援		事業者	→ R6:307イテム/5年	-		
		生産者	R2:117174 R3:107174			
			R4:87174 R5:137174			
【連携AP6】						
(4) 地域資源を活かした商品開発	○神はかこし切も院車業『再担』	m=1=	A 16 T D 16 T 1 T 1 T 1 T 1 T 1 T 1 T 1 T 1 T 1		「曲歩八冠】	
○事業者や地域グループ等の人材育成 //連携 8 商工 5 №		四万十市	◆一次産品等を活かした新 南口の問発	◆事業者間や地域で協働した商品開	【農業分野】	F 300
│ │《連携8、商工5》 │ │	・地域振興関係2名配置 (大川筋・後川、目黒川流域)	(農林水産課・観光商		発、販路開拓等の取組みが円滑に推進 されている	〇地域おこし協力隊(農業振興:西土佐1名)	5, 739千円
○事業者、地域等の提案を拾い上げる	・中心市街地活性化1名、まちなか景観形成1名配置	工課・産業建設課)	H30:117474		〇地域おこし協力隊(農業振興:中村1名)	1,000千円
体制づくり 《商工2、16》	・農業振興2名配置(あぐりっこ、西土佐農業公社)	関係団体・組織	→ R 6 : 307イテム/5年	<u> </u>	※起業支援	
○事業者間のマッチング機会の創出	・ぶしゅかん振興1名配置	事業者	R 2 : 117/74	◆商工会議所等の関係団体と連携し、	【商工業分野】	
《商工2》	・地域資源活用 1 名配置(天体観測:ホテル星羅四万十)		R3:107174	外商に取組む新規事業者の掘起こしが	〇幡多広域地産外商推進協議会負担金	50千円
	・旧校舎利活用1名配置		R4:87174	必要。	・幡多6市町村共同による外商活動を展開	
	・卸売市場の活性化1名配置		R 5 : 137174			
<u> </u>	1		1		1	

テーマ 策 アクションプラン 主な内容	R6年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	定量的な目標 到達点(R 6) 実積(直近)	備考 (定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)概要	吏
野						
	○西土佐地域産業振興推進協議会(毎月開催) 【再掲 】				〇地域おこし協力隊経費	7, 949千
	・ナスフェス(8月:道の駅)で米ナスメニューPR				西土佐地域:須﨑(ホテル星羅四万十)	, ,
〇商品の品質、ラベル等の磨き上げや	・西土佐地域12店舗で米ナスメニューの普及				大宮(1名)	
表示の適正化 《商工1》	(ガブッと米ナスキャンペーン8月~9月)				○特産品等販売促進事業(商談会等出展)	2, 183 千
	・しまんと西土佐あゆフェス(6月:道の駅)で鮎の食べ方PR				大規模商談会等へ出展支援等(2,183千円)	2, 100
					1	
〇新たな商品・サービス等の企画・開	・HPでの情報発信				がルジョー春、シーフート・ショー、ライフスタイルweek出展	
発支援 《商工3》	・西土佐うまいもの商店街(10月)				グルショー秋、関西圏商談会出展	
	〇特産品等販売促進事業(商談会出展)				れんけいこうちを活用	
〇地域ならではのアイデア、資源を活	・市内特産品販売促進のため、大規模商談会へ出展支援				〇販路拡大支援事業	1, 500 T
かした商品開発 《商工16》	2月 グルメショー(東京都)				物価高騰対応地方創生臨時交付金を活用	
	〇産業振興推進総合支援事業費補助金				〇産業振興推進総合支援事業費補助金	
	地元食材を活用した加工品の開発				地元食材を活用した加工品製造の施設整備	3, 500=
	実績: 1件 454千円				〇地域おこし協力隊経費【再掲】	
	〇物価高騰対策販路拡大支援事業費補助金(商談会出展補助金)				┃ ┃ (西土佐商工会:地域活性化1名)	4, 743=
	実績: 2件 500千円				 ○あゆを活用した地域活性化事業	
					(西土佐地域産業振興推進協議会)	
						等宝施
【連携AP7】					同工公民を帰め並とわれる情報が出版し、利用にと	サスル
(5)滞在型の観光商品づくり						
〇観光マーケティングリサーチ (○滞在型の観光地づくり(実施主体:四万十市観光協会)	四万十市	◆教育旅行受入家庭数		【観光分野】	
《観光1》	●地域の観光資源、フィールドを活かした滞在型の観光商品づくり	(観光商工課・産業建	H29:49軒→ R6:65軒	◆多様な実施主体が連携を強め、満足	〇観光案内所運営補助金 (四万十市観光協会)	7, 200 -
(A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	· 観光動向調査 (4月~12月)	設課)	D 0 . F0+T D 0 . F0+T		・観光協会観光案内所、臨時観光案内所での観	,,
 ○観光商品としての検証と磨き上げ	観光協会案内所: 8,518人(内外国人2,929人)	観光協会	R4:13軒 R5:31軒	ログラムを持続的に展開している 	光動向等	
					1	1 000
《観光2》	・修学旅行レンタサイクル受入(2件)	四万十市観光振興連絡 協議会	◆広域における一般観光客	◆広域組織における5つの機能	○周遊促進・滞在延長支援事業費補助金	1, 000-
	・阪急交通社5連泊商品オプション提案(6件) (受入人数 53人)		数		(四万十市観光協会)	
○観光商品づくり研修会等の開催	・クラブツーリズムレンタサイクル受入(1件)	西土佐観光推進協議会	1	①商品の企画・立案	〇観光客誘致宣伝活動	4, 593 -
《観光3》	★県観光キャンペーン「どっぷり高知旅」との連携	四万十市体験型観光受	→ R6:64,500人増	②商品の造成、販売、取扱	・教育旅行、一般旅行の国内誘致活動(651千円)	
	・オススメどっぷり高知旅コンテストへ応募(7素材)	入研究会	R 2:1,004,518人	③広報、情報発信、窓口	・パンフレット等印刷(2,420千円)	
〇異業種連携の強化	(四万十市観光協会の「レンタサイクルを活用した自由な四万十川	幡多広域観光協議会	R3:995,699人	④地域の人材育成	観光パンフレット送付(57千円)	
《観光 3、14》	四万十市内散策」コンテンツが幡多地域エリアで 1 位)	予土県境地域連携実行	R 4:1,004,105人	⑤観光産業化	OONSEN・ガストロノミーウォーキング	800=
	・商品造成エリアへ応募(田出ノ川地区)	委員会	R5:1,110,430人	│ │ R6:強化	 ○四万十川を活用した魅力向上事業補助金	1, 450 -
〇周遊観光プランの造成・発信及び販	エリア選定を受け、今後関連団体と商品開発を行う		◆広域におけるスポーツ客		┃ ┃(実施主体:四万十市観光振興連絡会議)	
一売 《観光5》	・周遊促進・滞在延長支援事業費を活用	光振興連絡会	数		・花と食をテーマとした観光イベント(四万十	
	(実施主体:四万十市観光協会)	四月五支地域知火体终	H30:17万8.977人		川花紀行等)の開催、検証等	
	事業名:四万十川試元励会/ 事業名:四万十川川バス周游促進事業(2.010千円)	四国西南地域観光連絡 協議会	→ R6:12.200人増			
		DIJ 143. 24	H31:18万2, 587人			
	●広域連携による周遊観光の推進		R2:126.339人		・体験プログラム等の磨き上げ、開発、家庭	
	・広域観光クラスター整備計画(SDGs)(継続)		,		募集、研修ほか	
C	〇〇NSEN・ガストロノミーウォーキング(実施主体:四万十市観光振興連絡協議会)		R3:159,930人		○幡多広域観光協議会負担金	10, 718
	食、歴史・文化、四万十川の景観を楽しく体感する新しい旅のスタイルの提案		R 4:204, 204人		(事業主体:幡多広域観光協議会)	
	・「ガストロノミー賞」受賞(令和4年度実施)		R 5:226,825人		「幡多広域観光振興計画」に基づき、高知県の自	
	・令和7年3月8日開催		◆広域におけるはた旅体験		然・体験型観光キャンペーンと連携した事業を展開	
	〇四万十川を活用した魅力向上事業補助金		商品利用者数		〇四万十川観光遊覧船協議会	
	(実施主体:四万十市観光振興連絡会議)		H30:20,269人		・観光遊覧船事業の検証や磨き上げ	
	◇花と食をテーマとした観光イベント(四万十川花紀行等)の開催、検証等		→ R6:24.200人		 ○四万十リバーアクティビティ連絡協議会	
	①香山寺 : 藤 (4月中旬~下旬)		R2:18.036人		・カヌーやサップなどアクティビティの推進	
	②トンボ自然公園 : 睡蓮 (4月下旬~10月中旬)		R3:38.993人		〇モンベルフレンドエリア登録	594-
			,			
	③大宮 : バラ (5月中旬~下旬)		R4:39,790人		〇スポーツ合宿等支援事業補助金 ま内容治体部 24° W体部を利用した 今宮、十今第	1, 000· ≠ ± ±¤
	④トンボ自然公園 : 花菖蒲 (5月下旬~6月上旬)		R5:37,119人		・市内宿泊施設、スポーツ施設を利用した合宿・大会等	
	⑤薮ヶ市 : ユリ (5月下旬~6月下旬)		◆広域におけるはた旅体験		〇自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区	10-
		1	商品数		町村長の会	
	⑥安並水車の里 : 紫陽花 (5月下旬~6月上旬)	1		İ	〇西土佐地域産業振興推進協議会	
	⑥安並水車の里: 紫陽花(5月下旬~6月上旬) ⑦入田ヤナギ林: 曼殊沙華(9月下旬~10月上旬)		H30:101商品/年			
			H30:101商品/年 → R6:100商品/年		・食や観光資源を活用した地域活性化	
	⑦入田ヤナギ林 : 曼殊沙華 (9月下旬~10月上旬)					5, 095
	⑦入田ヤナギ林 : 曼殊沙華(9月下旬~10月上旬) ⑧黒尊渓谷 : 紅葉 (11月中旬~下旬)		→ R6:100商品/年		・食や観光資源を活用した地域活性化	5, 095
	⑦入田ヤナギ林 : 曼殊沙華(9月下旬~10月上旬) ⑧黒尊渓谷 : 紅葉 (11月中旬~下旬) ⑨入田ヤナギ林 : 菜の花(2月下旬~3月中旬)		→ R6:100商品/年 R2:107商品/年		・食や観光資源を活用した地域活性化	5, 095

分野 					
連携テーマ	R6年度の取り組み状況		定量的な目標	備考	
施策		主な事業主体	到達点(R6)	(定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)概要
アクションプラン			実積(直近)		
主な内容					
携分野					
	〇しまんとリバーベキュープロジェクト【再掲】				
	(農林水産物の活用、商品開発、観光誘客など)				
	道の駅よって西土佐、星羅四万十を拠点とした取組の推進				
	9月 JBBQA検定:初級(13名受検)				
	9月 クッキングクラス講習(6名)				
	10月 JBBQA検定:中級(4名受検)				
	12月 ジャッジクラス講習(3名)				
	12月 SCAAステーキコンテスト				
	3月 ONSENガストロノミーウォーキング				
	〇四万十市どっぷり旅得キャンペーン事業(物価高騰対策事業)				
	登録数 宿泊施設:47 体験施設:10 クーポン券取扱店:197				
	9月~1月末 クーポン券配布 (2,000円×市内1万泊)				
	(1,000円×市内5千体験分)				
	換金実績(執行割合) 66.70% (1月30日時点)				
	物価高騰対応地方創生臨時交付金を活用				
	〇西土佐地域産業振興推進協議会【再掲】				
	10月 西土佐うまいもの商店街				
	Oスポーツツーリズム 				
	· 大会招致				
	①大会名: ニトリJD. LEAGUE 2024 第9節 四万十ラウンド				
	開催日:9月7~8日				
	参加チーム:トヨタ、日立、日本精工				
	②大会名:第11回西日本一般男子ソフトボール大会				
	開催日:11月9~10日				
	参加チーム:20チーム 3大会名:第5回四万十旗争奪小学生野球大会				
	開催日:1月11~13日				
	開催ロ: 1月11~13日 参加チーム: 16チーム				
	・スポーツキャンプ受入				
	4月:土佐高等学校(弓道)				
	9月:高知大学(合気道)				
	2月:同志社大学(準硬式野球)				
	足利大学(野球)				
	明治安田生命(硬式野球)				
	3月:京都先端科学大学(準公式野球)				
	大阪大学(硬式野球)				
	・受入に関する意見交換会等				
	1/29 幡多地域のスポーツツーリズムについて				
	〇大宮バラ園来訪者へのガイド(5月~6月)				
	バラ園入込数:1,123人、ガイド利用:3組33人				
	〇四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業				
	(実施主体:幡多広域観光協議会)				
	· 商談会(14回 146社)				
	・モニターツアーアテンド(一般旅行3回、教育旅行1回)				
	• 団体旅行受入 (17団体)				
	・教育旅行セールス (関東35社、関西14社)				
	· 教育旅行受入 (7校)				
	・教育旅行下見(1校)				
	・教育旅行商談会 (2回 17社)				
	・インバウンド関連 教育旅行学校説明会(台湾 1回49校)				
	・インバウンド関連 団体旅行商談会(台湾 1回9社)				
	・インバウンド関連 旅行会社向けセミナー (マレーシア 1回30社)				
	・インバウンド関連 観光PRキャラバン (シンガポール 1回)				
	・観光PRキャラバン(4回)				
	・ツーリズムEXPOジャパン(東京)				
	・フィッシングショーOSAKA2025 (大阪)				

5/28

中性未派共計画	プン定抄官柱ノード 【中和6年度】			T		
手テーマ	│ T6年度の取り組み状況		定量的な目標	備考		
五 策	く数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (R6)	(定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)概	要
アクションプラン	(実積(直近)	(XIII) GI M MEGC		
主な内容						
) 野						
	・GSTCトレーニング受講					
	・宿泊アンケート調査					
	〇四万十市体験型観光受入研究会					
	・田舎暮らし体験受け入れ 5月 常翔啓光学園中学校 32人					
	6月 開成高等学校 55人					
	11月 台湾教育旅行視察 8人					
	3月 豪州・新西蘭・太平洋島嶼国 19人					
	・令和6年度四万十市体験型観光受入研究会総会開催(5月)					
	- ・受入家庭数(令和7年1月):35軒					
	〇四国西南サミット観光部会					
	広域観光事業の推進、合同物販又はPR事業等					
	・11/10 やわたはま産業まつり物販イベントへの出展					
. 情報発信と販路開拓・拡大						
【連携AP8】						
(1) 地域産品の発信と販路開拓・拡大					8	
	〇地産外商活動(新型コロナの影響で減少)	四万十市	◆商談会等での成約率	◆産業間が連携し、多様な外商活動が 展開されている		
動等	4~3月 松山大街道にて外商活動(毎週火曜)(西土佐ふるさと市)	(農林水産課・観光商	H30:20.8% → R6:25%		┃○地域おこし協力隊(農業振興:西土佐1名)【再掲】	【5,739 千
《農業17、林業15、水産12、	6~7月 天然鮎の高付加価値化 活鮎の豊洲市場出荷(あゆ市場)	工課・産業建設課)	R 2:46.3%	◆多様な広報・プロモーション活動が	、 〇地域おこし協力隊(農業振興∶中村1名)【再掲】	【1,000 】
商工4、8、観光7》	4~11月 奥伊予街道7駅物語	関係団体・組織	R 3:35.5%	展開され、地域産品の販売促進につな がっている		
〇商談会等販路開拓・拡大の支援	(スタンプラリー、愛媛県道の駅との連携)	事業者	R 4:18.5%	3.3 60.0	【林業分野】	
《農業17、水産12、商工4》	9月 北の恵み 食べマルシェ (旭川)	生産者	R 5 : 23. 7%		〇四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金【再掲】	【200 ↑
	10月 四万十地域連携企画 (豊浜SAでの物販)					
《連携9、11、商工4、7、	10月 全国交流物産展 in 新橋					
観光7、10》	11月 フェスティバル土佐ふるさとまつり(西土佐鮎市場ほか)					
│ ○地域の人、もの、コトの発信	11月 枚方市友好都市物産展					
《商工17》	12月 高知大丸冬の味覚祭					
****					【	
○事業者や地域グループ等の人材育成	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				【商工業分野】	.
《連携6、商工5》	○幡多広域地産外商協議会 				〇特産品等販売促進事業(商談会等出展)【再掲】	【2,183 ↑
〇有機農産物の流通促進	・物産PR等継続事業、都市圏等の物産PR等継続事業の実施				・大規模商談会等へ出展支援等(2,183千円)	
《連携 1、農業18》	11月 しんくみビジネスマッチング(商談会出展)				り゛ルメショー春、シーフードショー、ライフスタイルweek出展	
〇四万十ヒノキ製品の販売力の強化	1月 関西アンテナショップとさとさでのフェア開催				グルショー秋、関西圏商談会出展	
《林業20》	〇特産品等販売促進事業 (商談会出展) 【再掲】				れんけいこうちを活用	
○漁協の販売機能の強化	・市内特産品販売促進のため、大規模商談会へ出展支援				〇幡多広域地産外商推進協議会負担金【再掲】	【50 ↑
《連携 1、水産11》	2月 グルメショー (東京都)				〇地産外商促進事業(西土佐地域出店関係)【再掲】	【771 ∓
┃ ┃	○地域おこし協力隊事業				・ふるさとまつり、枚方物産展、大丸フェア、ビールトロッコ	
グの構築と発信 《水産12》	・幡多公設地方卸売市場の活性化(市場ブランドの確立支援)				〇西土佐地域産業振興推進協議会【再掲】	
 ◎新たな拠点(旧土豫銀行跡地)によ	〇四万十鮎ブランド化				- ・食や観光資源を活用した地域活性化	
	・四万十一デカい鮎釣った人が優勝!グランプリ開催				〇地域おこし協力隊経費【再掲】	
《連携2、商工10》	(6/1~9/30)				・中心市街地活性化1名	【4,378 】
					・まちなか景観形成1名	【5,108 ↑
(連携2、農業15、商工18)	・県「あゆ王国高知振興ビジョン」との連携				· 幡多公設地方卸売市場活性化1名	[4,888]
《建场2、股末10、同工10》	○物価高騰対策販路拡大支援事業費補助金(商談会出展補助金) 【再掲】				〇地域おこし協力隊経費【再掲】	L 4,000
	実績: 2件 500千円				(西土佐商工会:地域活性化1名)	【4,743 千
L_L 【連携AP9】	天根:2件 300千円				(四工在同工云:地域活住化(石)	[4,743]
【建携AF9】 (2) 観光商品のセールス・情報発信						
〇広域連携によるキャンペーンの展開	○□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	四万十市	▲知业协会士 ノ・゜ ヾー	A 50 M A 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	【観光分野】	
			◆観光協会ホームページア クセス数	◆観光人材・組織のスキル(商品企画 営業力等)が向上し 親光誘客が	【観光が野】 ○幡多広域観光協議会負担金【再掲】	【10,718 】
	パンフレット「四国西南の旅」作成、配布	(観光商工課・産業建 設課)	1	画、宮来刀寺/か问上し、観元誘各が 増加している。		1 0,/18
	〇四万十川総合保全機構(観光部会)		H30:189,053件		(事業主体:幡多広域観光協議会)	
○営業力のある人材、組織の育成	四万十川流域市町村観光振興連絡会が統合	観光協会	→ R6:200,000件	- ◆多様な広報・プロモーション活動が	「幡多広域観光振興計画」に基づき、高知県の自	
《観光6》	流域市町村周遊観光パンフレット作成	幡多広域観光協議会	R 2:162,843件	展開され、観光誘客につながっている	然・体験空観ルがパープと建榜した事業を展開	
	〇四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業【再掲】		R3:265,941件		〇予土県境地域連携実行委員会負担金	550
〇旅行会社への営業活動の促進	(実施主体:幡多広域観光協議会)		R 4:285,089件		・サイクリングを核とした観光振興連携事業ほか	
《観光6》	・商談会(14回 146社)		R 5:233,641件		〇四万十川保全機構観光部会負担金	498-
	・モニターツアーアテンド(一般旅行3回、教育旅行1回)				・流域周遊促進にかかる事業ほか	
○旅行商品商談会等への出展	·団体旅行受入(17団体)				〇四国西南地域観光連絡協議会負担金	40-
【	・教育旅行セールス(関東35社、関西14社)				・パンフレット作成ほか	
****** "	The second secon		1	1		

分野					
連携テーマ	マート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		定量的な目標	備考	
施策	************************************	主な事業主体	到達点(R6)	っている。	令和7年度当初予算(取り組み)概要
アクションプラン			実積(直近)		
連携分野		I			
	・教育旅行受入(7校)				〇観光客誘致宣伝活動【再掲】 【4,593千円】
□ □ □ ○海外への営業活動の促進	・教育旅行下見(1校)				・教育旅行、一般旅行の国内誘致活動(651千円)
《観光6》	 教育旅行商談会(2回 17社) 				・パンフレット等印刷 (2, 420千円)
	・インバウンド関連 教育旅行学校説明会(台湾 1回49校)				・観光パンフレット送付(57千円)
					〇観光大使設置事業 341千円
	・インバウンド関連 旅行会社向けセミナー (マレーシア 1回30社)				・国内外への幅広い情報発信力を活かした広報
	・インバウンド関連 観光PRキャラバン(シンガポール 1回)				活動を展開(R7年度委嘱予定:1名程度)
	・観光PRキャラバン(4回)				〇地域おこし協力隊経費(観光振興1名)【再掲】 【5,095千円】
《連携8、11、商工4、7、 	・ツーリズムEXPOジャパン(東京)				〇周瑜促進·滞在延長支援事業費補助金【再掲】 【1,000千円】
	・フィッシングショーOSAKA2025 (大阪)				(四万十市観光協会)
	・GSTCトレーニング受講				〇西土佐地域産業振興推進協議会【再掲】
│					
	○観光商品の外商の推進(実施主体:四万十市観光協会) 観光商品のセールス及び情報発信の強化				
	・商談会への参加(4月東京、5月広島・岡山、10月マレーシア・シンガポール、1月高知)				
│ │ │ │ │ ○産業間連携や広域連携による誘客 │ │ │ (PR) 活動 《連携11、観光7》	・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ ・				
THE PARTY OF THE P	・SNS(フェイスブック、インスタグラム)の掲載内容充実(継続)				
	〇西土佐地域産業振興推進協議会【再掲】				
	・食や観光資源を活用した地域活性化				
	・地域を巡るツアー「四万十西土佐半径3kmの旅」の磨き上げ				
	〇観光大使設置事業(現在26名)				
	・本田雅人氏(サックス奏者)への新規委嘱				
	・観光大使へ小、小情報等の情報発信依頼、市特産品を贈呈しPRを強化				
	・間六口氏のイベント出演において、四万十市の情報を発信				
	・やくみつる氏による一條大祭取材、祭り行事への参加				
	〇予土県境地域連携実行委員会				
	ラ キーボック バールス インス インス インス インス インス インス インス インス インス イン				
	・サイクリングの魅力情報発信、サイクルトレイン事業				
	・予土まちサイクルデジタルスタンプラリー (7月~12月下旬)				
	予土県境地域ごとに、自然・観光・穴場スポットの設定				
	- 参加延べ人数: 989名(前年度比約10%増)				
	★県観光キャンペーン「どっぷり高知旅」との連携【再掲】				
	・オススメどっぷり高知旅コンテストへ応募(7素材)				
	(四万十市観光協会の「レンタサイクルを活用した自由な四万十川				
	四万十市内散策」コンテンツが幡多地域エリアで1位)				
	・商品造成エリアへ選定され、商品開発を行う(田出ノ川地区)				
	・周遊促進・滞在延長支援事業費を活用				
	事業名:四万十川川バス周遊促進事業(2,010千円)				
	〇観光ガイドミーティング(4回)				
	・LOILOIしまんとミーティング(4月、6月、9月、11月)				
3. 四万十の"食"文化の磨き上げと発信 【連携AP10】					
(1) "食"文化の磨き上げ					
〇四万十の食文化の掘起し、磨き上げ	〇中村の塩たたきプロジェクト	四万十市		◆四万十の"食"として市内外の知名	
《商工6》	・参画事業者(34店舗)による塩たたきの普及	(農林水産課・観光商		度が向上し、販売や観光誘客などの拡	
	〇しまんとリバーベキュープロジェクト【再掲】	工課・産業建設課)		大につながっている	
《商工6》	(農林水産物の活用、商品開発、観光誘客など)	関係団体・組織			
│	・道の駅よって西土佐、星羅四万十を拠点とした取組の推進	事業者			
○未利用資源等の掘起しと利活用	9月 JBBQA検定:初級(13名受検)	生産者			
│	9月 クッキングクラス講習(6名)				
	10月 JBBQA検定:中級(4名受検)				
	12月 ジャッジクラス講習(3名)				
	12月 SCAAステーキコンテスト				
	3月 ONSENガストロノミーウォーキング				

I						
テーマ			 定量的な目標	,		
É	R6年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (R6)	備考 (定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)概	要
アクションプラン			実積(直近)	(足住的な目標、味趣など)		
主な内容						
<u> </u>						
【連携AP11】 2)"食"の発信						
	 ○食の発信・普及イベント等【再掲】	四万十市	◆県内平均消費額(四万十	◆四万十の"食"として市内外の知名	【商工業分野】	
《観光4》	4~11月 奥伊予街道七駅物語(スタンプラリー、愛媛県道の駅と連携)		лі)		〇地産外商促進事業(西土佐地域出店関係)【再掲】	【771千
	6月 しまんと西土佐あゆフェス(道の駅)	(農林水産課・観光商工課・産業建設課)	H29:28,869円	の回遊につながっている	・ふるさとまつり、枚方物産展、大丸フェア、ビールトロッコ	
 ★自然・体験型の観光と歴史や文化、	8月 ナスフェス(道の駅)		→ R6:33,000円			
食とが一体となった観光プログラムの		関係団体・組織	R2:26,849円		【観光分野】	
造成・発信及び販売 《観光4》	3月 四万十川花紀行「菜の花」まつり	事業者	R3:29,495円		OONSEN・ガストロノミーウォーキング【再掲】	[800]
	3月 ONSEN・ガストロノミーツーリズム	生産者	R4:32.356円		〇四万十川を活用した魅力向上事業補助金【再掲】	[1,450
 ○食の発信イベント・企画の麻⇒ ト/+	○予土県境地域連携実行委員会 【再掲 】	 -	R 5:32,356円		(実施主体:四万十市観光振興連絡会議)	27,100
及び拡充 《水産14、商工7》	ラナニボボルペピの关门を負払 【 17 6】 予土県境サイクルツーリズムの推進		◆商店街通行者数(平日)		・花と食をテーマとした観光イベント(四万十	
	・サイクリングの魅力情報発信、サイクルトレイン事業		H27~H30平均:5, 338人/日		川花紀行等)の開催、検証等	
○ ○一元的な情報発信の促進	・予土まちサイクルデジタルスタンプラリー(7月~12月下旬)		→R6:6.200人/日		○幡多広域観光協議会負担金【再掲】	【10,718号
	予土県境地域ごとに、自然・観光・穴場スポットの設定		R2:5,824人/日		(事業主体:幡多広域観光協議会)	10,710
《連携8、9、商工4、7、 観光7、10》	参加延べ人数:989名		R3:4,743人/日		「幡多広域観光振興計画」に基づき、高知県の自	
	参加延へ入数:909石 ○しまんとリバーベキュープロジェクト【再掲】		R4:4.359人/日		「幡夕広域観光振英計画」に基づさ、高和県の自然・体験型観光キャンペーンと連携した事業を展開	
			, , , , , ,		然。体験主観光行がうと建物した事末を展開	
◎産業間連携や広域連携による誘客(PR) 活動 《連携9、観光7》	(農林水産物の活用、商品開発、観光誘客など)		R5:5,859人/日			
	・道の駅よって西土佐、星羅四万十を拠点とした取組の推進		◆産業祭来場者数			
★県外事業者等の拠点を活用した外商 活動 《商工8》	9月 JBBQA検定:初級(13名受検)		H30:20,000人			
// 1	9月 クッキングクラス講習(6名)		→ R6:40,000人/5年			
	10月 JBBQA検定:中級(4名受検)		H31:3,000人			
	12月 ジャッジクラス講習(3名)		R2:中止			
	12月 SCAAステーキコンテスト		R3:中止			
	3月 ONSENガストロノミーウォーキング		R4:10,000人			
	〇四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業【再掲】		R5:2,000人			
	(実施主体:幡多広域観光協議会)		※H31、R5は西土佐産業祭			
	・商談会(14回 146社)					
	・モニターツアーアテンド(一般旅行3回、教育旅行1回)					
	・団体旅行受入(17団体)					
	・教育旅行セールス(関東35社、関西14社)					
	・教育旅行受入 (7校)					
	・教育旅行下見 (1 校)					
	・教育旅行商談会(2回 17社)					
	・インバウンド関連 教育旅行学校説明会(台湾 1回49校)					
	・インバウンド関連 団体旅行商談会(台湾 1回9社)					
	・インバウンド関連 旅行会社向けセミナー(マレーシア 1回30社)					
	・インバウンド関連 観光PRキャラバン(シンガポール 1回)					
[・観光PRキャラバン(4回)					
	・ツーリズムEXPOジャパン(東京)					
	・フィッシングショーOSAKA2025 (大阪)					
	・GSTCトレーニング受講					
	・宿泊アンケート調査					

四万十中厍耒振興計画 アクションノフ	プン進捗官埋ソート 【令和6年度】		1	1		
分野 戦略の柱 施策	- - R6年度の取り組み状況 - 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	定量的な目標 到達点(R6)	備考 (定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)概要	Ę
アクションプラン			実積(直近)	(足圧的な自信、休息など)		
主な内容						
農業分野						
1 産地としての維持・強化						
1. 戦略品目の生産拡大						
【農業:AP1】						
(1) ぶしゅかんの産地づくり						
◎生産量の拡大と産地化の推進	 ○ぶしゅかん産地化・普及推進事業【再掲】 ・ぶしゅかん産地化推進業務委託(四万十ぶしゅかん生産者組合) ・地域おこし協力隊(通年:販促・PR業務など) ・新規定植(苗代への補助) ・有害鳥獣対策用防護柵(設置費補助) ○ぶしゅかん栽培現地検討会・目慣らし会(8月22日)【再掲】 栽培管理指導、巡回指導等、植え付け・剪定講習会(2月15日予定) ○四万十ぶしゅかん㈱を主体に各種商談会、展示会、物産展等でのの販路開拓・販売促進活動を展開【再掲】 ・仲卸会社(東京)、製薬会社(東京)、市内旅館等 ○ぶしゅかん生産量の把握【再掲】 ・市内栽培面積、生産量の把握、青玉の流通 	四万十市 (農林水産課・観光商 工課) 生産者 事業者	◆ぶしゅかん新植面積 H30:10.9ha → R6:25ha R2:13.0ha R3:13.6ha R4:14.9ha R5:15.1ha ◆ぶしゅかん生産量 H30:28.1t → R6:81t R2:26.7t R3:29.1t R4:19.7t R5:40.5t R6:21.7t		○ぶしゅかん普及推進事業【再掲】 ・新規定植(苗代への補助) 900本 180a ・有害鳥獣対策用防護柵(設置費補助) 100m ・産地化推進事業業務委託 ○ぶしゅかん生産量の把握【再掲】 ・市内栽培面積、生産量の把握、青玉の流通 ○四万十ぶしゅかん(株)を主体に商談会等へ参加【再料	【1,150千円]
【農業AP 2】 (2) ゆずの産地化促進	〇ゆずの生産性の向上	四万十市	◆ゆず栽培面積	◆ゆず生産量	○高知県ゆず振興対策協議会負担金	31千円
○生産性の向上		1	▼179 萩培画慎 H30:44.0ha → R6:45ha			31 +1-
	・冬至用・平箱ゆず出荷目慣らし会(10月)、剪定講習会(3月)	(農林水産課・産業建設課)		H27-H30平均431.5t/年	〇剪定、誘引指導の実施	_
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□			R2:44.1ha R3:44.1ha	→R 6:445 t	〇目慣らし会、出荷販売検討会(JA高知県中村支所)	_
向上		JA高知県	R4:44.1ha R5:44.1ha		〇「四万十ゆず」の地域団体商標登録に向けた取組	_
		生産者、事業者		R 4 : 476. 4t R 5 : 639. 4t	みの推進(JA高知県中村支所)	
【農業AP3】 (3)栗の産地再生						
(3) 未の産地再生	○ 西草 プログー ねし 【五相】	m= ı +	▲亜北位工徒		○ 西草プロジー 5 1 【五相】	[1 004 T III]
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	○ 東幕プロジェクト【再掲】	四万十市	◆栗栽培面積		〇栗暮プロジェクト【再掲】 	【1,064千円】
	・西土佐橘地区栗実証農園運営(農業公社へ運営委託)	(産業建設課)	H30:48ha → R6:60ha		・栗園モデル事業	
	・水田転換推進業(排水対策工事) 計画: 0. 6ha (2月末時点0. 05ha)	JA高知県	R 2 : 52. 2ha R 3 : 55. 0ha		- 産地化促進補助(苗木補助)	
	・新改植推進事業(苗木補助) 計画:1,100本(2月末時点186本)	生産者	R 4:58. 6ha R 5:60. 2ha		・水田転換推進事業(平場新植推進) 	
	○栗の集出荷(西土佐地域)	事業者	R 6 : 61. Oha		○園芸作物等の集出荷を継続実施	_
	(実施主体:JA高知県、しまんと美野里、西土佐ふるさと市)		◆栗生産量		(JA高知県、しまんと美野里)	
	・JA高知県:栗を含め地域振興作物の集出荷		H27-H30 平均23.5t/年			
	・しまんと美野里:栗の集出荷及び加工販売		→ R6:60t			
	・西土佐ふるさと市:栗を含め地元産品の販売		R2:18.3t R3:21.0t			
			R4:17.2t R5:18.0t			
			R6:15.5t			
【農業:AP4】						
(4) 米ナスの振興						
★生産量の拡大と産地化促進	〇西土佐地域産業振興推進協議会【再掲】(アツいまちサミットコラボ事業)	四万十市	◆米ナス栽培面積		〇露地作付面積日本一米ナスを活用した地域活	
	・PRイベント「ナスフェス」開催	(農林水産課・産業建			性化事業【再掲】	
★地元での認知度向上及びブランドカ	・「ガブッと米ナス」キャンペーン開催(8/1~9/30)	設課)	R 2:452a R 3:434a		(西土佐地域産業振興推進協議会)	
の向上	西土佐地域12店舗参加、期間中、米ナス料理を提供	JA高知県	R4:406a R5:350a		・販路開拓、広告宣伝等	
	○露地作付面積日本一米ナスを活用した地域活性化事業【再掲】	生産者	R 6 : 335a			
	(西土佐地域産業振興推進協議会)	事業者	◆米ナス生産量			
	・HPでの情報発信		H30:260t → R6:359t			
	・産地としての競争力強化と販路拡大(JAとの連携)		R2:274.1t R3:289.3t			
	○地域への定着		R4:232.8t R5:224.2t			
	・学校との連携(西土佐小学校・中学校、西土佐分校で栽培体験実施)		R6:193.1t			
	・PRイベント「ナスフェス」への学生参加(高校生)					
	- 市内小中学校給食における米ナスメニュー提供 (6月,7月,9月)					
	 ・天敵温存ハウス整備事業(JA米ナス部会):補助実績140千円、整備面積180㎡ 					
	天敵昆虫(タバコカスミカメ)の温存ハウス整備による、農薬低減、農家負担の					
	軽減、産地化の強化					
	TERM (EVO 10 V JS 10		I	1	1	

5十市産業振興計画 アクションフラ	7ン進捗管理シート 【令和6年度】				1	
野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主な内容	- - R6年度の取り組み状況 - 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	定量的な目標 到達点(R 6) 実積(直近)	備考 (定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)概要	
【農業:AP5】						
(5)有望品目の産地強化						
	 (実施主体:高知県農業協同組合、生産者1戸) 流出防止付タンク及び防油堤の整備:2基分 〇新規作物導入試作支援事業(西土佐農業公社等) 栽培実証及び販売促進等を支援(米ナス盛夏期の高温対策試験) 〇わさび実証実験事業(実施主体:四万十市わさび栽培協議会) ・わさびの2作目の栽培管理、総括 〇野菜価格安定事業(中村地域:四万十市中村野菜価格安定基金協会) 	四万十市 (農林水産課・産業建 設課) JA高知県 四万十農園あぐりっこ 西土佐農業公社 集落営農組織 生産者		◆有望品目の安定生産や新規品目が地域内で定着し、安定した農業経営につながっている	○園芸ハウス整備事業 (ハウスの修繕10件) ○燃料タンク対策事業 ・流出防止付タンク及び防油堤の整備: 3基分 ○新規作物導入試作支援事業 (西土佐農業公社等) ・栽培実証及び販売促進等を支援 ○わさび栽培実証実験事業 ・わさび栽培協議会負担金、栽培実証試験継続 ○野菜価格安定事業 (基金協会負担金) ・補給金: 2,000千円(市1,000千円、JA1,000千円) ○野菜価格安定事業(市事業分) 中村地域のみ 市・JA・生産者 1/3負担	85,800千円 2,123千円 7,002千円 - 1,998千円 1,000千円 2,000千円
	5月に給付(前年度分) 対象品目:オクラ、シシトウ、ナバナ 〇園芸作物価格安定事業(西土佐地域:園芸作物価格安定基金評議会) 3月 評議会を開催(4月以降補給金支払) 対象品目:シシトウ、ナバナ、インゲン、米ナス、小ナス オクラ、茎ブロッコリー、イチゴ				対象品目:オクラ・シシトウ・ナバナ 〇園芸作物価格安定事業(特別会計) 〇園芸用ハウス等リノベーション事業	570千円 502千円
2. 生産性の高い栽培技術の導入						
【農業:AP6】						
(1) 学び教えあえる場づくり						
○学び教えあう場づくり	○農業基礎講座 ・農業基礎講座(7月~9月):7回開催、(10月~11月):3回開催(年間10回) (栽培技術、就農計画、制度資金、農薬適正使用、経営管理等) ○JA選果場における目慣らし会の実施(随時) ○地域内農家による巡回指導(随時)	四万十市 (農林水産課・産業建 設課) JA高知県 四万十農園あぐりっこ 西土佐農業公社 生産者		◆講座等を通じて、営農に不可欠な栽培技術や経営感覚が習得され、持続的な農業経営が実践されている ◆新規就農者等と篤農家との交流が促進され、情報収集や就農後の相談体制収集や就農後の相談体制等ネットワークが構築されている	OJA選果場における目慣らし会の実施 「O地域内農家による巡回指導	— — —
【農業:AP7】		<u> </u>				
(2)環境保全型農業の推進						
○環境保全型農業の普及・啓発 【農業:AP8】	○有機農業等総合支援事業 ・堆肥等有機物利用促進 上半期(4月~9月)中村実績:1件 下半期(10月~3月)西土佐実績3件(1月末時点) ○環境保全型農業直接支払交付金事業 ・3団体 取組面積:3,711a (有機農業3,610a(中村)、カバークロップ101a(西土佐)) ○環境保全型農業推進事業 ・JA高知県西土佐行ゴ 部会 計画:4戸、66a → 実績見込0戸、0a 目立った病害虫発生がなかったことにより未実施	四万十市 (農林水産課・産業建 設課) 生産者	◆環境保全型農業直接支払事業参加経営面積 H30:21.4ha → R6:25ha R2:30.7ha R3:32.6ha R4:35.4ha R5:43.5ha R6:37.1ha ◆環境保全型農業推進事業 実施経営体数 H30:21戸 → R6:20戸を維持 R2:0戸 R3:0戸 R4:0戸 R5:0戸	◆四万十川のブランドイメージにマッチした環境保全型農業が推進され、消費者からの支持が集まり、農産物の高付加価値が高まっている		147千円
(3) 先端技術を活用した園芸施設や園芸 システム等の普及推進						
◎次世代型こうち新施設園芸システムの普及推進	○次世代園芸ハウス事業化に向けた協議 ・事業者、高知県、農業公社など関係機関にて随時協議 ○Next次世代型施設園芸の導入 合計 138名 ①出荷データの提出に同意 135名(②+③) ②SAWACHI登録かつ出荷データの提出に同意 59名 ③出荷データの提出に同意のみ(SAWACHI登録なし) 76名 ④SAWACHI登録のみ(出荷データの提出なし) 3名	四万十市 (農林水産課・産業建 設課) 生産者	◆次世代施設園芸等への誘致企業数 H30: O社 → R6:1社 R2:O社 R3:O社 R4:O社 R5:O社 R6:O社			

	十市産業振興計画 アクションブラ	ン進捗管埋シート 【令和6年度】				
	各の柱 施策	 	主な事業主体	定量的な目標 到達点(R6)	備考	
"	^{也來} 「アクションプラン	〈数量的に見える形で具体的に記載〉	土は事未土体	実積(直近)	(定性的な目標、課題など)	〒和/牛及ヨ彻卫昇(取り和 <i>の)</i>
				大 镇(但近)		
# ** /	主な内容					
農業分						
	3. 集落営農の推進					
	【農業:AP9】 (1)集落営農の組織化、法人化の支援					
		○	四万十市	◆集落営農組織数		□ ○ 組織化への誘導 ー
	││○組織化に向けた取組みの推進	→ 組織間連携	 (農林水産課・産業建	H30:31組織		 ・集落営農広域連携組織の協議
		中村地域営農協議会 (R5.10.25設立) の役員会を開催 (月1回)	設課)	→R6:31組織を維持		
	★組織の広域連携化の推進	代表 : (農)利岡FARM	集落営農組織	R3:31組織 R4:31組織		○既存組織へのフォローアップ
		事務局 : (農)田野川甲営農組合	7177 11301210	R5:31組織		・集落営農組織連絡協議会(年1回程度)
	│ │○フォローアップ体制の充実・強化	構成組織:(農)入田村、(農)い一すとみやま、(農)わらびおか、		◆農業経営を行う法人数		・組織別座談会
		(農)三里営農組合、楠島あぐり集落営農組合		H30: 4法人→R6:8法人		○地域営農支援事業 (ソフト事業) 340千円
		米の共同出荷の実施、ドローン導入(R7予定)に向けた協議		R3:8法人 R4:8法人		・先進地視察(組織化への誘導、既存組織へのフォ
		ドローン部会の法人化((仮称)合同会社スマートアグリ中村を3月設立予定)に向けた協議		R5:8法人		ローアップ・支援)
		組織間連携(中村地域営農協議会役員会月1回開催)		1		
		 集落営農組織連絡会開催(西土佐地域 11月、2月) 				
		組織別座談会				
		〇地域営農支援事業(ソフト事業:既存組織支援)				
		・先進地視察(1/29・30広島県)				
		○地域営農支援事業(ハード事業)				
		営農組織に対する農業用機械、施設整備等の助成				
		· (株) 大宮産業: 乾燥調製設備一式 (21,786千円)				
		│ │ ※集落営農活性化プロジェクトの上乗せ分				
		・ (農) 三里営農組合 コンバイン (2,068千円)				
	【農業:AP10】					
	(2)こうち型集落営農の実践					
	〇収益性の高い品目を導入した組織の		四万十市		 ◆収益性の高い品目を導入する組織が	〇地域営農支援事業(ハード事業) 0千円
	育成・支援	- 農事組合法人入田村 雇用確保支援 300千円 (農の雇用事業)	(農林水産課・産業建		育成させれている	※当初0、6月補正対応
		〇地域営農支援事業(ハード事業)【再掲】	設課)			組織に対する農業用機械、施設整備の助成
		営農組織に対する農業用機械、施設整備等の助成	集落営農組織			- 西土佐地域実施予定3組織
		※集落営農活性化プロジェクトの上乗せ分				(オカタ営農組合、津賀営農組合、にしとさすさき営農組合)
		・(農) 三里営農組合 コンバイン (2,068千円)				〇こうち農業確立総合支援事業 0千円
		• (株) 大宮産業: 乾燥調製設備一式 (21,786千円)	JA高知県			※当初0、6月補正対応
		※集落営農活性化プロジェクトの上乗せ分	生産者			近代化施設整備 西土佐地域実施予定 1 組織
		(427千円)				(西土佐紅はるか生産組合)
		〇集落営農活性化プロジェクト促進事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
		営農組織に対する農業用機械、施設整備等の助成				
		・西土佐西部営農組合 : 籾摺機一式 (712千円)				
_		・ (農) 三里営農組合 コンバイン (3,445千円)				
	4. 生産・出荷支援システムの構築 【農業:AP11】					
	【辰耒·APII】 (1)農作業支援体制の充実					
		 ○農作業支援隊による農業労働力確保事業(高知県農業協同組合)	四万十市	◆無料職業紹介所紹介件数		○無料職業紹介(JA高知県) — — — — — — — — — — — — — — — — — — —
	○農作業支援体制の整備	· 農作業支援	(農林水産課・産業建	H30:82件 → R6:180件		・幡東、北幡地域で無料職業相談所運営を継続
		#把散布:281t、作業支援:0件、WCS収穫、梱包:0a	設課)	R2:50件 R3:53件		
		〇農作業支援体制の整備	JA高知県	R4:35件 R5:24件		
		・無料職業紹介所	西土佐農業公社			
		(中村地域) 求職者:14件、求人:24件、マッチング:延べ26件				
		(西土佐地域)求職者∶0件、求人∶1件、マッチング∶延べ0件				
		・周知活動:市役所2階図書館入口に募集ポップ設置(通年)				
	【農業:AP12】 (2)集出荷支援体制の充実					
		〇ぶしゅかん集出荷事業(四万十ぶしゅかん生産者組合)【再掲】	四万十市	◆生産・出荷支援システム		 ○園芸作物等の集出荷を継続実施【再掲】 -
	援	8~9月 集出荷支援	(農林水産課・産業建	取組件数		(実施主体: JA高知県西土佐支所 他)
		〇農産物の集出荷	設課)	H30:5件		
		JA高知県、しまんと美野里、 西土佐ふるさと市	JA高知県、生産者	→ R6:5件を維持		
		東富山を守る会	大川筋振興組合	R2:5件 R3:5件		
			東富山を守る会	R4:5件 R5:5件		
				R6:5件		
			1		1	▼ # ** / \ m>

		I			l .	
略の柱 施策 「アクションプラン	R6年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	定量的な目標 到達点(R 6) 実積(直近)	備考 (定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)概要	:
	-		人员 (巨足)			
主な内容						
}野 【辰耒AP13】			+			
(3) 地域内農業者の共同生産体制の構						
天礼 	○西土佐地域での共同生産体制の構築		四万十市	◆生産技術を有する者がリーダーとなり	〇西土佐地域での共同生産体制の構築	
	JAにおいて米ナス共同選果試験実施 (6月~10月 生産者3名参加)		(産業建設課)	共同生産を行うグループが結成され、出	JAにおいて米ナス共同選果試験実施(数名限定)	
	米ナス共同選果の実施に向けた検討会実施		JA高知県、生産者	荷・販売が行なわれている		
地元農畜産物の利用・販売促進						
1. 地元農畜産物の利用促進						
【農業: AP14】 (1) 地元消費拡大に向けた取組みの強化	主な内容 ○公共施設での利用促進、〇地元消費拡大フェアの開催⇒ 連携AP 1 ○市内量	販店等を拠点とした販路技	t大⇒ 連携AP2			
【農業:AP15】	主な内容	WILL OF COMMENT	47 × XED3/11 E			
(2) 直販機能の強化	②直販所機能の強化⇒ 連携AP 2 ◎道の駅「よって西土佐」の機能拡充⇒ 過	携AP2、連携AP8				
【農業:AP16】	主な内容					
(1)ブランド化の推進	〇戦略品目のブランド化、◎40010日プロジェクト、★新食肉センター整備に伴う養	豚場の整備促進、★四万寸	- 牛を核とした西土佐地域の産	業振興⇒ 連携AP3		
【農業:AP17】	主な内容					
(2)地元農畜産物を使った商品の開発・	○地元農畜産物を使った商品の開発、○意欲的な生産者への支援⇒ 連携AP3	#AD O				
販売	◎産業間連携や広域連携による外商活動等、○商談会等販路開拓・拡大の支援⇒ 連	汚AP 8	_		I	
3. 有機農業の推進						
【農業: AP18】 (1) 有機農産物の販路開拓・拡大	主な内容 ○ 大機豊产物の済済促進→ 連携	5+催 A D →				
【農業:AP19】	○有機農産物の流通促進⇒ 連携AP1、連携AP8 ○公共施設での利用促進⇒ 返	登坊AP I	_		I	
【晨未·AF19】 (2)有機農業の普及・啓発活動の推進						
	○有機農業等総合支援事業【再掲】	四万十市	◆有機農業等総合支援事業		○有機農業等総合支援事業 【再掲 】	[147
〇有機農業の普及・啓発	• 堆肥等有機物利用促進	(農林水産課・産業建設		◆四万十川のブランドイメージにマッ	○環境にやさしい農業のための研究会との連携	¥ 1 17
	上半期(4月~9月)中村実績:1件	課)	H30:6. Oha	ナした有機農業が推進され、消費者が		
	下半期(10月~3月)西土佐実績3件(1月末時点)	地産地消推進団体	→ R6:6.0haを維持	らの支持が集まり、農産物の高付加価		
		地连地州雅连凹体	R2:9.5ha R3:5.8ha	打胆が高まつている		
		生産者	R4:5.7ha R5:4.6ha			
		工性名	14 · 3. /11a 1 · 3 · 4. 011a			
 担い手の確保・育成						
1. 新規就農者の確保・育成						
【農業: AP20】						
(1) 新規就農者の研修支援						
	○新規就農研修支援事業	四万十市	◆新規就農者数		〇新規就農者育成総合対策事業	3, 50
〇新規就農者の確保・育成	研修生手当、受入農家等研修補助金を交付	(農林水産課・産業建			(研修支援)	
	・中村地域 受入農家 : 継続2名、新規1名(R6.8月開始)	設課)	→ 3人/年	<u> </u>	· 研修生手当(継続2名、新規2名)	
〇新規就農者に対する農地提供促進	・西土佐地域 西土佐農業公社及び受入農家 継続1名	 四万十農園あぐりっこ	R2:7人/年		・受入農家等研修補助金(継続2名、新規2名)	
	〇農地等の斡旋	西土佐農業公社	R3:7人/年		〇四万十農園あぐりっこ運営費	9, 83
	・空き農地、空きハウス情報収集・提供	JA高知県	R4:1人/年		CAN TREE OF TOTAL CONTROL OF THE CON	0,00
	TCM TC - 77 INTWANT MEN	生産者	R5:3人/年		〇農地の斡旋	
		工生日	10.0%		・空き農地、ハウス情報収集	
 【農業:AP21】					上に成心、ハノハ旧秋仏木	
(2)新規就農支援体制の拡充						
	○就農相談会等	四万十市	◆新規就農者数		〇農業次世代人材投資資金事業及び新規就農者育	42, 98
││○相談支援体制の充実	 ・県外の合同就農相談会(大阪)出展1回(10/27) 	(農林水産課・産業建			成総合対策事業(経営発展)	,
	 ・県外の合同就農相談会(東京)出展1回(12/8) 	設課)	H27-H30平均2.8人/年		・就農相談会への参加(東京1回、大阪1回)	
││○経営安定への支援	・県内の合同就農相談会(高知)出展1回(2/9)	 四万十農園あぐりっこ	→ 3人/年	<u> </u>	・就農初期段階の青年就農者への経営支援	
	・県外の就農相談会(大阪)出展1回(3月)	西土佐農業公社	R2:7人/年		継続対象者:10名、新規対象者:5名	
〇就農開始時の支援	〇新規就農支援チームによるトータルサポート	JA高知県	R3:7人/年		○就農相談・経営安定化支援	
	・営農指導、経営指導、事業導入、資金利用計画等のサポート	が同が不	R4:1人/年		・就農支援チームによるトータルサポート	
			1			
	·経営計画作成支援等		R5:3人/年		営農指導、経営指導、事業導入、資金利用計画等 	
	〇農業次世代人材投資資金(経営開始型)交付 ・継続対象者・6名(内共5名・亜土佐1名)					
	・継続対象者:6名(中村5名・西土佐1名)					
	〇新規就農者育成総合対策(経営開始資金・経営開始支援資金)交付 (************************************					
	・継続対象者: 5名(中村4名・西土佐1名)、新規対象者: 2名(中村)					
	○新規就農者育成総合対策(就農準備資金・就農準備支援資金)交付					
	→継続対象者4名(中村3名・西土佐1名)	- 1	1	İ	Ī	

四月 印度未派央計画 アフノョンノノ	フ延抄自理ノート 【节和0年度】				1	
分野						
戦略の柱	R6年度の取り組み状況		定量的な目標	備考		
施策	〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (R6)	っている。	令和7年度当初予算(取り組み)概要	2
アクションプラン	(数重明に光だるがで共作的に配収/		実積(直近)	(たはりなり歩、休逸など)		
主な内容						
農業分野						
【農業: AP22】 (3)移住促進による新規就農支援						
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	四万十市	◆新規就農者数		〇農業次世代人材投資資金事業及び新規就農者育	【42,987千円】
│	・県外の合同就農相談会(大阪)出展1回(10/27)	(農林水産課・産業建	H27-H30平均2.8人/年		成総合対策事業(経営発展)【再掲】	142,507 1]]
		(辰州小佐禄・佐未建 設課)				
	県外の合同就農相談会(東京)出展1回(12/8)		→ 3人/年		・就農相談会への参加(東京1回、大阪1回)	
	・県内の合同就農相談会(高知)出展1回(2/9)	四万十農園あぐりっこ	R2:7人/年 R3:7人/年			
	・県外の就農相談会(大阪)出展1回(3月)	西土佐農業公社	R4:1人/年 R5:3人/年			
	〇市農業紹介PR映像配信					
	就農希望者へのPRのため研修施設や農作物(トマト、ピーマン、米ナ					
	ス、ぶしゅかん、しまんと農法米、栗)を内容とした映像を配信	JA高知県				
	ス、からゆかが、しながと展仏水、木/を門子とした映像を配信	0/1月/4米				
【農業: AP23】 (1) 認定農業者制度の周知強化						
		四万十市	◆認定農業者数		〇地域計画の見直し(16地区)	
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○						
	・全16地区で協議の場を実施。地域計画の策定・公表。	(農林水産課・産業建	H30:139人 → R6:150人		・国の事業を活用する時や、担い手に変更がある	
┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃┃	〇経営所得安定対策推進事業	設課)	R2:131人		一時等には随時見直しを行う。	
	5月 中村地域:3回、西土佐地域:3回	JA高知県	R3:127人		○認定新規就農者の5年経過した者を認定農業者へ	
	○認定農業者制度(見込み含む)		R4:122人		誘導	
	・認定新規就農者(5年経過)へ制度説明·誘導		R5:124人			
	(5年経過の更新認定:中村地域2人、西土佐地域 名)		R6:123人(予定)			
	・5年経過の更新認定(中村地域:36人、西土佐地域: 人)		1.0 1.207() 2.7			
	・認定新規就農者から移行の新規認定(中村地域:0人)					
【農業:AP24】						
(2)認定農業者等のフォローアップの強						
						075 - F
○認定農業者等のフォローアップの強			◆認定農業者数		〇担い手育成・確保対策事業	375千円
	・新規認定者の計画作成支援(中村地域:1 件、西土佐地域:1件)	(農林水産課・産業建	H30:139人 → R6:150人		・認定農業者のフォローアップ等	
	・再認定者の計画策定支援(中村地域:36件、西土佐地域:3件)	設課)	R2:131人 R3:127人		〇農業後継者育成支援(西土佐地域)	70千円
	・広域認定者の計画認定支援(中村地域: 4 件、西土佐地域: 0 件)	JA高知県	R4:122人 R5:124人		・評議会において農業後継者育成のための各種事業	
		認定農業者連絡協議会	R6:123人(予定)		の検討及び実施(農業後継者育成確保基金)	
【再掲】			111111111111111111111111111111111111111			
3. 集落営農の推進 【農業:AP9】	主な内容					
【辰未·AP9】 (1)集落営農の組織化、法人化の支援	土な内谷 〇組織化に向けた取組みの推進、★組織の広域連携化の推進、◎フォローアッ゚	プ体制の充実・強化⇒ 農業AP9				
	主な内容					
(2)こうち型集落営農の実践	〇収益性の高い品目を導入した組織の育成・支援⇒ 農業AP10					
4 農地の利用促進						
1. 農地の利用調整						
【農業: AP25】						
(1)農地利用の円滑化	○ 典址 山門 笠 四 市 孝	m 王 土 士				
〇農地中間管理機構の活用	〇農地中間管理事業	四万十市		◆営農類型に応じた農地集積、農地利		
	・市内全域で中間管理事業実施に向けた農地の掘り起こし	(農林水産課・産業建		用の円滑化(流動化)が促進されてい		
┃ ┃ ┃ ┃ ○地域の農業委員による農地の利用調	・掘り起こした農地の中間管理権設定(上半期実績:30,017㎡)	設課)		<u>م</u>		
		農業委員会				
◯人・農地プランの実質化	〇農業委員等による農地の利用調整					
⇒地域計画の策定	・農地パトロールの実施、利用意向調査実施、調査結果の取りま					
	とめ結果(機構利用希望データ)の機構への引渡し、情報提供					
	〇地域計画策定に向けた取組【再掲】					
I 曲 米· ADCCY	・全16地区で協議の場を実施。地域計画の策定・公表。					
【農業: AP26】 (3) 基盤整備の推進						
	○利岡地区(R5繰越、R6現年)	四万十市	◆ほ場整備実施面積		○利岡地区整備(県営事業負担金)	1,000千円
〇入田、三里地区整備	・補完工事及び換地業務		₩ 131:1, 128. 3ha		・補完工事	1, 000 1 [7]
		(農林水産課・産業建設課)				0 000==
	〇整備検討地区への説明会開催(楠島地区)		→ R6:1,144ha		○蕨岡地区ほ場整備推進事業	3,000千円
📕	〇アンケート結果に基づく地区協議(蕨岡地区)	地区組織	R 3: 1142. 3ha		○整備検討地区との協議を随時実施	
┃ ○その他の地区整備			R 4: 1142. 3ha			
			R 5: 1142. 3ha			
📕			※新たな整備はなし			
					Į	

	印度未派央計画	プン延抄官柱ノード 【中間0千度】		,			
分野		_					
	略の柱	┃ R6年度の取り組み状況	> 1 -t- 31/2 > 11	定量的な目標	備考		
	施策	〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(R 6) 実積(直近)	(定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)村	以安
	アクションプラン	_		天傾(巨辺 <i>)</i>			
# ***	主な内容						
農業							
	2. 耕作放棄地対策 【農業:AP27】						
	【辰乗・AP27】 (1) 耕作放棄地の再生及び発生防止対策						
	〇耕作放棄地の再生	〇耕作放棄地の再生	四万十市	◆中山間地域等直接支払制		〇耕作放棄地の発生防止対策	
		・農地利用意向調査による再生地情報の取得、	(農林水産課・産業建	度の実施農地面積		• 多面的機能支払交付金	107, 338千円
	 〇耕作放棄地の発生防止対策	・農地パトロールによる再生地確認	設課)	H31:521.5ha		中山間地域等直接支払交付金	139, 983千円
		〇耕作放棄地の発生防止対策	農業委員会	→R 6 ∶521. 5haを維持			
		·中山間地域等直接支払交付金(四万十市計)	集落協定組織	R3:547.2ha R4:546.7ha			
		交付予定額: 86,398千円 交付組織数:50組織	農地・水保全組織	R 5 : 547. 3ha			
		(うち西土佐48,245千円、28組織)					
		· 多面的機能支払交付金(四万十市計)		◆多面的機能支払制度の実			
		交付予定額: 84,425千円 交付組織数:57組織、1,354ha		施農地面積			
		(うち西土佐9,401千円、11組織)		H31:1, 446. 1ha			
				→R 6 ∶1, 446. 1haを維持			
				R2:1, 446. 1ha R3:1, 403. 4ha			
				R4:1, 378. 8ha R5:1, 379. 8ha			
	【農業:AP28】 (2)適合品目の栽培促進						
		○	四万十市	◆ぶしゅかん新植面積		〇ぶしゅかん普及推進事業【再掲】	【1,150千円】
	││○適合品目の栽培促進	・西土佐橘地区栗実証農園運営(農業公社へ運営委託)	(農林水産課・産業建	H30:10.9ha → R6:25ha		〇栗暮プロジェクト【再掲】	【1,064千円】
		・水田転換推進業 (排水対策工事) 計画: 0.6ha (2月末時点0.05ha)	設課)	R 2 : 13. Oha R 3 : 13. 6ha		○露地作付面積日本一米ナスを活用した地域活	21,001 122
		 新改植推進事業(苗木補助) 計画:1,100本(2月末時点186本) 	生産者	R4:14.9ha R5:15.1ha		化事業【再掲】	
				◆栗栽培面積		(西土佐地域産業振興推進協議会)	
				H30:48ha → R 6:60ha		・販路開拓、広告宣伝等実施	
				R 2 : 52, 2ha R 3 : 55, 0ha		MARINIAN MALENTANIA	
				R4:58.6ha R5:60.2ha			
				R 6 : 61. 0ha			
		1				ļ.	

か野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主な内容		主な事業主体	定量的な目標 到達点(R 6) 実積(直近)	備考 (定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)概要	Ī
1 四万十の山づくり						
1. 長期的視点に立った産地づくり						
【林業:AP1】 (1) ls / s 竞性 ls L 不 O 竞 键 O 整 d						
(1)ヒノキ産地としての意識の醸成				▲市民 恋妹所方妻へ只管に傷れたと	 ○宿泊体験型モデルハウス管理費【再掲】	For a T III I
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	〇「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施【再掲】	四万十市(農林水産 理)		ノキ資源が全国有数であり、ヒノキ産		【319千円】
	、 宿泊者:64組、延べ289人 見学者:147人(12月末現在)	森林組合		地として森林整備の必要性が周知され	・「四刀(こ) イの家」 この兄子、旧石体駅の美加	1,809千円
○森林所有者の意識の醸成	〇四万十ヒノキブランド化推進協議会【再掲】 ・四万十ヒノキについてパンフレット等でPR	林業事業体		ているとともに、山(杯業)や木材へ の関心が高まっている	〇宿泊体験型モデルハウス長寿命化修繕費 ・LED化、空調修繕、防災設備修繕	1, 809十円
	・80ヒノキ(大口径ヒノキ)付加価値化の検討等			の 関	· LLDIL、至酮修槽、例及改哺修槽 	
	・四万十七ノキ原木の育成・施業方法の検討	四万十ヒノキブランド 化推進協議会			│ │○四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金【再掲】	200千円
	- 四分(こ)イ派小の自成・旭朱万広の模的	12.2.3.3.2.			〇フェア等の開催【再掲】	200 13
					- 「幡多山もりフェス2025」開催予定	
					○全国木のまちサミットinしまんと負担金	3,000千円
【林業:AP2】					日本のようテステー III ひなんと真正型	0,000 1
(2)計画的な森林管理・経営の促進						
◎森林資源の現状把握とデータ管理の		四万十市(農林水産		◆計画的な森林管理・経営に向け「森 の工場」や森林経営計画が整備促進さ	○幡多地域森づくり推進センター負担金	5, 190千円
徹底	・意向調査業務: (中村) 570ha、 (西土佐) 57.48ha	課)	H30:3, 100ha	の工場」や緑林栓宮計画が登偏促進さ れている	集積計画(案)の作成、森林整備(間伐等)事	
	・林況調査等: (中村) 297ha、 (西土佐) 769. 28ha	林業事業体	→ R 6 : 3, 900ha		業費の積算、仕様書作成	
	・保育間伐: (中村) 22ha		R 2:3, 987. 3ha		○施業をした森林の市有林台帳のデータ修正・管理	_
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	・作業道開設: (中村) 1,800m、(西土佐) 1,728m		R 3 : 2, 969. Oha		・造林補助事業等により市有林台帳を随時更新	
	・幡多地域森づくり推進センターによる集積計画案等の作成、		R 4 : 1, 829. 3ha		〇林地台帳整備	_
	市と林業事業体間の連携調整		R 5 : 1, 481. 1ha		〇森林経営計画の作成	_
	〇市有林台帳、林地台帳(県)データ修正・管理				・林業事業体等が森林経営計画を作成し経営類型を	
	・造林補助事業等により市有林台帳を随時更新				明確化	
	〇森林経営計画の作成(12月末現在)					
	・林業事業体等が森林経営計画を作成し経営類型を明確化・計画変更2件(森林組合他1件)					
	·新國家與2件(林林祖古他1件) ·新規計画2件(森林組合)					
	- 机成制画之件(林怀祖日)					
【林業:AP3】 (3)循環型森林整備						
	○森林経営管理制度の運営【再掲】	四万十市(農林水産	◆「森の工場」の認定面積	◆計画的な森林管理・経営に向け「森	○幡多地域森づくり推進センター負担金【再掲】	【5,190千円】
	· 意向調査業務: (中村) 570ha、 (西土佐) 57.48ha	課)		の工場」や森林経営計画が整備促進さ れている	集積計画(案)の作成、森林整備(間伐等)事	
	・林況調査等: (中村) 297ha、 (西土佐) 769.28ha	森林組合	→ R 6 : 3, 900ha	1 10000	業費の積算、仕様書作成	
	• 保育間伐: (中村) 22ha	林業事業体	R 2 : 3, 987. 3ha			
	・作業道開設:(中村) 1,800m、(西土佐) 1,728m		R 3 : 2, 969. 0ha			
	・幡多地域森づくり推進センターによる集積計画案等の作成、		R 4:1, 829. 3ha			
	市と林業事業体間の連携調整		R 5 : 1, 481. 1ha			
2. 長伐期施業の推進						
【林業: AP 4 】 (1) 長伐期施業方針の啓発及び普及						
〇長伐期施業方針の啓発及び普及		四万十市(農林水産理)		◆長伐期施業方針が広く認知されている		
		DA /				
(2)長伐期施業技術(ノウハウ)の蓄積と普及						
〇市有林におけるモデル林の整備	〇森の工場(協働の森づくり事業は別途掲載)	四万十市(農林水産		▲ 目状物体 娄1~80~7 ・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4・4	〇市有林整備事業	83,856千円
	• 馬道鼻:搬出間伐7. 14ha(5, 050千円)	課)		◆長伐期施業に関するノウハウ、技術 体系が確立され、普及している	〇森の工場(協働の森づくり事業は別途掲載)	30,072千円
	・一ツ葉山 1 工区:搬出間伐8.50ha(8,665千円)	森林組合			○協働の森づくり	13, 702千円
	○協働の森づくり	林業事業体				
	・三里:下刈り6.53ha (1,598千円)	四万十ヒノキブランド 化推進協議会				
	・三ツ又:下刈り4.23ha(1,085千円)	1.1 推進協議会				

ロガー中産来派英計画	プン定抄官柱ン―ド 【节和ひ千度】 	1	T	T	I	
	-		1			
戦略の柱	令和6年度の取り組み状況		定量的な目標	備考		
施 <u>策</u>	〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (R6)	(定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)概要	
│	(※正はいったのかく)(ははいっぱん)		実積(直近)	(ACIER) OF INCOME OF		
主な内容]					
3. 適切な皆伐、間伐による原木生産の拡大						
【林業:AP6】 (1)森林の特性に応じた皆伐、間伐の実践						
○森林の特性に応じた皆伐 間伐の事	〇森の工場(協働の森づくり事業は別途掲載)【再掲】	四万十市(農林水産	◆原木生産量		〇市有林整備事業【再掲】	83,856千円】
践	 馬道鼻:搬出間伐7.14ha (5,050千円) ・一ツ葉山1工区:搬出間伐8.50ha (8,665千円) ○協働の森づくり【再掲】 ・三里:下刈り6.53ha (1,598千円) ・三ツ又:下刈り4.23ha (1,085千円) 〇みどりの環境支援事業 ・切捨間伐:1.58ha (88千円) 	課) 森林組合 林業事業体	H29:71, 945 m ^t → R6:75, 000 m ^t H30:55, 025 m ^t H31:68, 396 m ^t R2:67, 311 m ^t R3:62, 964 m ^t		〇森の工場(協働の森づくり事業は別途掲載)【再掲】【	30,072千円】 13,702千円】 3,842千円
	・作業道 3, 200m(3, 200千円)					
【林業:AP7】						
(2)施業の効率化と低コスト化 (2)施業の効率化と低コスト化 (3)作業道や林業機械導入への支援	○森の工場(協働の森づくり事業は別途掲載)【再掲】 ・馬道鼻:搬出間伐7.14ha (5,050千円)	四万十市(農林水産課)	◆作業道開設実績延長累計 H29:836,368m	◆効率的な作業システムによる施業の 低コスト化が進んでいる		83,856千円】
〇林内路網の維持管理	・一ツ葉山1 工区: 搬出間伐8.50ha (8,665千円) ○協働の森づくり【再掲】 ・三里:下刈り6.53ha (1,598千円) ・三ツ又: 下刈り4.23ha (1,085千円) ○みどりの環境支援事業 ・切捨間伐: 1.58ha (88千円) ・作業道 3,200m (3,200千円) ○森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業 ・森林機能強化:L=568m (作業道整備) ○ふるさと暮らし支援事業補助金 (作業道の改良・舗装) ・林道舗装: 2路線(延長=90m、800千円)	森林組合林業事業体	→ R6:873,000m H30:864,854m H31:888,354m R2:910,829m R3:931,558m R4:963,569m			13,702千円】 【3,842千円】 169千円 3,000千円
	作業道舗装:3路線(総延長=110m、1,500千円)					
(3)低コスト再造林、育林の検討						
(の はコスト 丹垣が、月がの疾的	○ 七字 白 點 母 斑 却 燇 △ 1- L 7 母 斑		A: 1 0 1 2 X = 5 * b			0F0 7 m
〇低コスト再造林、育林の実践 〇防護ネットの設置と捕獲の促進	〇有害鳥獣捕獲報償金による捕獲 12月現在の捕獲頭数 () は計画 シカ 1,351頭(2,400頭)、イバシシ 2,426頭(1,700頭)、サル 48頭(50頭)	四万十市(農林水産課) 森林組合	◆シカの捕獲頭数 H30:2,776頭 → R6:4,500頭	◆低コスト再造林、育林のノウハウ、 技術体系の確立が進んでいる !	○鳥獣被害防除対策事業(防護柵設置ほか) ○国防護柵設置(要望額) (事業主体:四万十市有害鳥獣被害対策協議会)	850千円 47, 983千円
	 ハクヒ・シン 651頭(400頭)、カワウ 411羽(400羽)、ノウサキ 120羽(100羽) ○食害ネット設置 ○国防護柵設置(事業主体:四万十市有害鳥獣被害対策協議会) ・鳥獣被害防止対策総合支援交付金 整備事業15地区 WM柵L=19,860m 電気柵11,600m 29,663千円 推進事業(捕獲艦) 2,000千円 	林業事業体 四万十市有害鳥獣 被害対策協議会	R2:2,368頭 R3:2,818頭 R4:2,198頭 R5:1,744頭		・鳥獣被害対策実施隊員報酬 (100千円) ・年間計画:シ カ 2,200頭 イノシシ 2,500頭 サ ル 50頭 ハクビシン 650頭 カワウ 100羽 ノウサギ 150羽	66, 557千円
					〇西部地区射擊場環境整備負担金	4,560千円
4. 林業事業体や担い手の確保、育成						
【林業:AP9】 (1)林業事業体及び林業技術者の育成支援						
〇林業事業体、林業技術者の育成	〇「緑の雇用」事業 雇用者9人(森林組合6人、林業事業体3人)	四万十市(農林水産課)	◆新規林業就業者数 H27-H30平均5人/年	◆経営能力の高い森林組合、林業事業 体が効率的な生産活動を展開している	│ · 雇用者 IU人(森林組合6名、林耒事業体4名)予定	_
○森林組合の経営力強化	新規:2(組合0、事業体2)2年目:2(組合2、事業体0) 3年目:5(森林組合4、林業事業体1) 〇林業担い手育成支援事業	森林組合 林業事業体 四万十七7年ブランド	→ R6:5人/年 R2:3人/年 R3:1人/年	◆効率的な林業生産活動を行うことができる優れた担い手が育成されている	〇林業担い手育成支援事業 雇用: 60,000円×12カ月×10名 住宅: 50,000円×12カ月×10名	13, 200千円
	緑の雇用事業で新規就業者を雇用している林業事業体に補助金交付60,000円×12カ月×9人=6,480千円(見込) 〇森林組合の経営力強化 市有林整備事業、協働の森づくり事業、森の工場を実施	化推進協議会 幡多林業活性化セン ター	R4:4人/年 R5:1人/年			83,856千円 30,072千円 - 5, 200千円

四万十市産業振興計画 アクションプラ	ラン進捗管理シート 【令和6年度】							
計野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主な内容	・	主な事業主体	定量的な目標 到達点(R 6) 実積(直近)	備考 (定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)概要			
木業分野								
【林業: AP10】 (2) 森林保育等の活動グループへのアプローチ								
○兼業型林業事業者の育成支援	・小規模林家が行う林業機械レンタルの補助	四万十市(農林水産 課) 兼業型林業事業者		◆林業生産活動を行う多様な担い手が 育成されている	○林地残材の搬出促進(バイオマス証明書発行)【再掲】 ○みどりの環境支援事業(レンタルタイプ) ・林業事業者の要望を取りまとめ県へ要望中			
【林業: AP11】 (3) 自伐林家及び集落組織等の育成								
〇自伐林家及び集落組織等の育成	・中村地域2組織、西土佐地域3組織が森林保全や山村地域活性化などの取り組みを実	四万十市(農林水産 課) 自伐林家等		◆林業生産活動を行う多様な担い手が 育成されている	○林地残材の搬出促進(バイオマス証明書発行) 【再掲】 ○森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業【再掲】 【169千 ※市上乗せ分			
2 供給体制の強化								
1. 加工事業体の生産力等強化								
【林業:AP12】 (1) 木材・木工製品の生産の拡大・商品 力の強化	主な内容 ○木材・木工製品の生産の拡大・商品力の強化⇒ 連携AP4							
2. 供給体制の効率化								
【林業: AP13】 (1) 木材流通ネットワークの構築	主な内容 〇木材流通ネットワークの構築⇒ 連携AP 1							
3 市産材の利用促進と販売力の強化								
1. 市産材の利用促進								
【林業:AP14】 (1) 木造住宅の建築促進	主な内容 ○木造住宅建築への支援、○コーディネイト組織の設立⇒ 連携AP 1							
【林業: AP15】 (2) 市産材の利用促進及び情報発信の強化	主な内容 ○木造化、木質化への情報発信、普及・啓発の強化、○地元消費拡大フェアの開催⇒ 返 ◎産業間連携や広域連携による外商活動等⇒ 連携AP8	直携AP 1						
2. 木質バイオマス利用促進								
	主な内容 〇林地残材等の搬出の促進⇒ 連携AP 1							
【林業:AP17】 (2) 木質バイオマス利用設備の普及促進	主な内容 ○木質バイオマスボイラー等の普及促進⇒ 連携AP 1							
3. 四万十ヒノキブランドの確立と販売力の強化								
(1)四万十ヒノキブランドの確立	主な内容 〇四万十ヒノキのブランド化の推進⇒ 連携AP 4							
【林業: AP19】 (2) 四万十ヒノキ製品の生産拡大、商品 力の強化	主な内容 ○木材・木工製品の生産の拡大・商品力の強化⇒ 連携AP4							
【林業: AP20】 (3) 四万十ヒノキ製品の販売力の強化	主な内容 <u>銀化 ○四万十ヒノキ製品の販売力の強化⇒ 連携AP 8</u>							
4_健全な森づくり								
1. 人と鳥獣の良好・適切な環境づくり								
【林業: AP21】 (1) 鳥獣被害対策	主な内容 〇防護ネットの設置と捕獲の促進⇒ 林業AP8							
【林業: AP22】 (2) 捕獲の担い手確保、育成								
○捕獲の担い手の確保、育成	〇新規狩猟者免許試験予備講習会受講料補助金(利用者20人)	四万十市(農林水産 課) 猟友会	◆シカの捕獲頭数 H30:2,776頭 → R6:4,500頭 R2:2,368頭		○新規狩猟者の確保(広報でPR予定) ○新規狩猟者免許試験予備講習会受講料補助金 240- ・年間利用者数見込み:20人			

R3:2,818頭 R4:2,198頭

R5:1,744頭

〇新規狩猟者射擊教習受講料補助

・年間利用者数見込み:10人

360千円

	十市産業振興計画 アクションプラ	市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート 【令和6年度】							
_ _	略の柱 施策 アクションプラン 主な内容	令和6年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	定量的な目標 到達点(R 6) 実積(直近)	備考 (定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)概要			
林業									
	2. 森のものの活用								
	【林業: AP23】 (1) 特用林産物の生産活動の支援とPR								
	〇特用林産物の生産活動への支援とPR	〇特用林産振興事業	四万十市(農林水産	◆特用林産物(しいたけ、		〇特用林産振興事業	360千円		
	○特用称座物の主座治動・の文版と下に	しいたけ原木・種駒購入補助(原木補助単価150円/本、種駒補助	課)	木炭)生産量		・しいたけ原木・種駒購入補助			
		率1/2)		H29:23, 466kg					
		交付決定額: 426千円		→ R 6:48,000kg					
				H31:42,665kg					
				R 2:32, 899kg					
				R 3:25, 600kg					
				R 4:12, 433kg					

対野 戦略の柱 施策	令和6年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載) 〇四万十川漁業振興協議会補助金 ・アユ疾病の疫学調査(10月~3月)	主な事業主体 四万十市(農林水産課) 四万十川漁業振興協議会	定量的な目標 到達点(R6) 実積(直近)	備考 (定性的な目標、課題など) ◆漁場環境や資源量等の継続的な把握と減少要因の分析が進み、漁業者と情報が共有され、天然資源の回復・増殖に向け関係者の連携した取組みが進ん	・アユ疾病の疫学調査 ・アユ仔魚調査	150千円
【水産AP 2 】 (2) 生育・漁場環境の保全・整備	・スジアオノリ及びヒトエグサ育成環境調査(10月~3月)	漁業協同組合		でいる	・スジアオノリ及びヒトエグサ育成環境調査	
○スジアオノリ生育・漁場環境の保全・整備 ○アユの産卵場の再生と保全管理 ○イセエビ漁礁設置による漁場整備	 ○アオサノリ漁場整備支援(四万十川下流漁業協同組合) ・漁場整備等 ○四万十川自然再生事業 (国土交通省・四万十川自然再生協議会による整備) アユの産卵場整備や汽水域の浅場再生などを行い、モニタリング調査を実施 ○資源保護や漁獲量確保、河川環境保全のための取組(四万十川漁業振興協議会) ・新組織の設立に向けた要望活動 	四万十市(農林水産課)四万十川自然再生協議会漁業協同組合	◆内水面漁業漁獲量 H29:49t → R6:50t H31:29t R2:36t R3:47t R4:41t ◆海面漁業漁獲量 H29:14t → R6:15t H30:13t H31~R5: — t ※市町村別統計廃止		○国土交通省・四万十川自然再生協議会による整備 ・四万十川自然再生事業 アユの瀬づくり、魚のゆりかごづくりを推進 ○アオサノリ漁場整備支援 (実施主体:四万十川下流漁業協同組合) ・漁場整備等	
2. 栽培漁業等の推進						
【水産AP3】 (1)効果的な種苗放流の推進						
〇内水面資源の種苗放流〇沿岸資源の種苗放流	 ○稚アユ放流補助金 ・四万十川中央漁業協同組合:稚アユ977kg ・四万十川西部漁業協同組合:稚アユ764kg ○稚アユ等放流(独自) ・四万十川下流漁業協同組合:稚アユ40kg、うなぎ31.82kg ・四万十川中央漁業協同組合:うなぎ50kg ・四万十川西部漁業協同組合:アメゴ20kg、うなぎ113.65kg 	四万十市(農林水産課) 漁業協同組合	◆内水面・沿岸資源の種苗 放流 R6:維持		・稚アユ放流、ツガニ放流、うなぎ放流	2, 500千円 1, 256千円
【水産AP 4】 (2) アオサの生産拡大						
〇区画あたりの生産拡大 〇新たな漁場の開拓と新規参入の 促進 〇生産・品質管理の徹底	 ○四万十川漁業振興協議会補助金【再掲】 ・ヒトエグサ漁場環境調査(水温、塩分の測定) ○生産工程の均一化と品質管理(四万十川下流漁業協同組合)【再掲】 ・生産工程マニュアルによるアオサ、スジアオノリの生産工程の均一化と品質管理を継続 	四万十市(農林水産課) 四万十川漁業振興協議会 四万十川下流漁業協同組合	◆内水面漁業漁獲量 H29:49t → R6:50t H30:37t H31:29t R2:36t	◆安定した生産量と品質が確保され、 入札業者の増加と高値安定が確保されている		[150千円]

	ラン進捗管理シート 【令和6年度】			T	T
D柱 度 アクションプラン 主な内容		主な事業主体	定量的な目標 到達点(R 6) 実積(直近)	備考 (定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)概要
<u> 工 </u>					
【水産AP 5 】 (3) スジアオノリの栽培技術の研究など への支援					
〇スジアオノリの栽培技術への支援 (助言など)	○スジアオノリ陸上養殖の調査・研究 ○実施場所や補助事業等の検討 ○四万十産川ノリ陸上養殖場整備事業 ・地域経済循環創造事業費補助金:20,481千円 ○しまんと海藻エコイノベーション共創拠点 ・四万十川河口域環境調査 ・藻類等の陸上養殖技術の研究 ・藻類陸上養殖場への支援 ・市民教育の改革(アントレプレナー教育、伴奏支援等)	四万十市(農林水産課) 四万十川下流漁業協同組合 民間事業者 しまんと海藻エコイノ ベーション共創拠点 (高知大学)	1	◆スジアオノリの自然栽培技術が向上 し、安定した生産が行われている	上 ○しまんと海藻エコイノベーション共創拠点 ・四万十川河口域環境調査 ・藻類等の陸上養殖技術の研究 ・藻類陸上養殖場への支援 ・市民教育の改革(アントレプレナー教育、伴奏支援等)
地域に根差した資源管理の仕組みづく					
【水産AP6】 (1)漁場利用の新たなルールづくり					
〇漁場利用のための新たなルールづく り	(〇エビ資源保護 (実施主体:高知県内水面漁場管理委員会) ・県内全河川でテナガエビ類採捕禁止(9~3月)(広報掲載)	四万十市(農林水産課)四万十川漁業振興協議会		◆市民、漁業者の意識と機運が高ま り、資源管理の取組みが進んでいる	
【水産AP7】 (2) 資源保護のための情報発信の強化					
〇資源保護のための情報発信の強化	○禁漁期間の周知と資源保護の啓発・密漁防止ポスター掲示・各種禁漁期間の周知(広報掲載)	四万十市(農林水産課) 漁業協同組合 高南幡東漁業秩序を守る 会(海面漁業)		▲市民 海業孝の音識レ機渾が宣す	○禁漁期間の周知と資源保護の啓発○高南・幡東地区漁業秩序を守る会負担金
」 担い手の確保、育成					
【水産AP8】 1) 新規就業者のための研修・フォローアップ					
	〇しまんと海藻エコイノベーション共創拠点 ・藻類陸上養殖場への支援 ・市民教育の改革(アントレプレナー教育、伴奏支援等)	四万十市(農林水産 課) しまんと海藻エコイノ ベーション共創拠点 (高知大学)	◆漁業体験研修の受講者数 R2~R6の5年間で3人 R2:0人 R3:0人	.	
		 漁業協同組合	1	1	
 〈産物の加工、販売促進					
水産物の高付加価値化の推進					
【水産AP9】 (1) 今ある商品の磨き上げ	主な内容 ○品質管理の向上、○商品力の強化⇒ 連携AP 5				
【水産AP10】 (2)新たな商品開発	主な内容 ○未利用資源等の掘起しと利活用⇒ 連携AP5、連携AP10 ○新たな商品	i品の企画・開発の支援⇒ 連携AP	P 5		
. 販売力の強化と販路拡大					
【水産AP11】 (1)漁協の販売力の強化	主な内容 ○漁協の販売機能の強化⇒ 連携AP1、連携AP8				
【水産AP12】 (2) ブランドカの強化と販路拡大	主な内容 〇ブランディングの構築と発信、◎産業間連携や広域連携による外商活動等、〇)商談会等販路開拓・拡大の支援	// 使⇒ 連携AP8 ○地元消	í費拡大フェアの開催⇒ 連携AP 1	
. 魚食文化の磨き上げと発信 【水産AP13】 (1) 魚食文化の磨き上げ	主な内容 ○魚食文化の磨き上げ⇒ 連携AP10				
(小魚食文化の磨さ工) 【水産AP14】	主な内容				
(2) 魚食文化の発信強化	○グルメイベント等での魚食文化の発信⇒ 連携AP11				
k産資源を活用した交流の拡大	1				

四万十市 (農林水産課・産業建 設課・観光商工課) 漁業協同組合 観光協会

◆自然や漁業への関心と資源保護に対 する市民意識が向上している

1. 体験交流の推進

【水産AP15】 (1)魅力ある体験商品づくり

○体験商品の磨き上げ

四万十市産業振興計画	アクションプラ	ラン進捗管理シート	【令和6年度】
/\ m=			

_	万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート 【令和6年度】							
	略の柱 施策 アクションプラン 主な内容		主な事業主体	定量的な目標 到達点(R 6) 実積(直近)	備考 (定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)概要		
水産	<u>業</u> 分野							
П	【水産AP16】 (2)体験教室等の開催							
	○体験教室の開催	 ○川漁体験学習等(四万十川中央漁業協同組合、四万十川西部漁業協同組合) ・稚アユ放流(4月:具同小60名、西土佐小9名、5月:蕨岡小17名) ・アユしゃくり漁体験(7月:大用小23名) ・アユ投網漁体験(9月:中村西中67名) ・アユつかみどり体験(9月:中村幼稚園100名) ○四万十川ガキ体験(7月21日) 主催:四万十の日実行委員会 対象:小学生、保護者(30名参加)体験内容:カヌー、サップでの川下り ○水辺の楽校(5~10月) 主催:四万十の日実行委員会 対象:中村小、大用小、具同小、東中筋小、西土佐小、中村南小、下田小、八東小、蕨岡小、東山小、竹島小の3、4、6年生 (301名参加)体験内容:水生生物採取、清流度調査、四万十川についての座学 ○親子川漁体験(7月27日) 主催:四万十の日実行委員会 対象:小学生親子(62名参加)講師:四万十川中央漁協組合 体験内容:投網、アユつかみどり提供アユ:合計40kg(四万十川中央漁協組合) ○川漁師体験(8月4日、18日) 主催:四万十の日実行委員会 対象:小学生、保護者(40名参加)講師:やかた舟さこや 体験内容:しば漬け漁、櫓漕ぎ 	四万十市 (農林水産課・産業建 設課) 漁業協同組合 四万十川漁業振興協議 会 四万十の日実行委員会		◆自然や漁業への関心と資源保護に対する市民意識が向上している	・各漁業協同組合の種苗放流時に実施		

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート 【令和6年度】 戦略の柱 定量的な目標 令和6年度の取り組み状況 施策 主な事業主体 到達点(R6) 令和7年度当初予算(取り組み)概要 (定性的な目標、課題など) 〈数量的に見える形で具体的に記載〉 実積 (直近) アクションプラン 主な内容 商工業分野 1 顧客に選ばれる商工業の振興 1. 地域資源を活かした商品開発 【商工AP1】 主な内容 (1) 今ある特産品等商品の磨き上げ ○テストマーケティング、○商品の品質、ラベル等の磨き上げや表示の適正化⇒ 連携AP6 【商工AP2】 主な内容 (2)魅力ある素材・アイデアの掘起し ○事業者、地域等の提案を拾い上げる体制づくり、○事業者間のマッチング機会の創出⇒ 連携AP6 【商工AP3】 主な内容 (3) 新たな特産品等の商品開発 〇新たな商品・サービス等の企画・開発支援⇒ 連携AP6 【商工AP4】 〇西土佐地域産業振興推進協議会(アツいまちサミットコラボ事業) (4)商品の販路開拓・販売促進 【商工AP5】 主な内容 (5) 商品開発、販路開拓の中核となる人 ○事業者や地域グループ等の人材育成⇒ 連携AP6、連携AP8 材、組織の育成等 ○新食肉センターの整備・新食肉センターを核とした地域産業の振興⇒ 連携AP2 2. 四万十の"食"文化の磨き上げと発信 【商工AP6】 主な内容 (1)四万十の"食"文化の磨き上げ ○四万十の食文化の掘起し、磨き上げ、〇塩たたきのブランド化の推進⇒ 連携AP10 【商工AP7】 (2)地域を拠点とした食の発信 ○食の発信イベント・企画の磨き上げ及び拡充⇒ 連携AP11 ○一元的な情報発信の促進⇒ 連携AP8、連携AP9、連携AP11 【商工AP8】 〇西土佐地域地産地消推進協議会(6、7、9、11、2月) (3) 都市圏等を拠点とした食の発信 3. 地震防災対策における建設事業の推進 【商工AP9】 (1)施設の長寿命化・南海地震対策の強 化による建設事業の確保 |○施設の長寿命化・南海地震対策の強 |○施設の長寿命化・南海地震対策関連の建設事業費 3,534,142千円 四万十市 ◆施設の長寿命化・南海地 |◆建設業を支える若年層の技術者が増 O施設の長寿命化・南海地震対策関連の建設事業費 化による建設事業の確保 (令和6年度当初予算額【繰越含】2,473,651千円) (地震防災課ほか) |震対策 |加している (繰越含む) R6:強化 【R6当初】計 3,030,344千円 ◆住宅耐震化率 【R6当初】計 3,193,624千円 津波避難路災害復旧工事 2,000千円 ・防災減災ため池整備(県営事業負担金) 7.000千円 • 津波避難路災害復旧工事 2,000千円 ・防災減災ため池整備(県営事業負担金)8,000千円 H30:69.8% • 住宅等耐震改修助成 146,428千円 • 老朽住宅除去事業費助成 50,000千円 住宅等耐震改修助成 171,370千円 ・ 臨時ヘリポート整備 20.357千円 → R6:81.9% ・公共施設適正管理推進(道路長寿命化)50,780千円 ・農業水利施設長寿命化(県営事業) 5,000千円 • 老朽住宅除去事業費助成 50,000千円 ・耐震性貯水槽整備(都市防災推進) 17, 490千円 H31: 71.4% 道路メンテナンス事業 558,453千円 • 防災安全社会資本整備交付金事業 226,501千円 ・公共施設適正管理推進(道路長寿命化)88,111千円 ・道路メンテナンス事業 601,500千円 R 2: 73.3% 市営住宅屋上防水・外壁改修(2棟) 51,751千円 · 都市防災推進 49.126千円 • 防災安全社会資本整備交付金事業 265, 200千円 • 具同保育所移転 162,967千円 R3:75.8% • 具同保育所移転 1,065,624千円 • 東山小学校改築 817.681千円 · 東山小学校改築 1,504,029千円 • 東山小学校屋内運動場長寿命化 302,600千円 R4:77.6% R5:79.6% 【繰越分】計 260,988千円 【繰越明許】計 340,518千円 ・津波避難路災害復旧工事 39,531千円 ・防災減災ため池整備(県営事業負担金)5,561千円 • 津波避難路災害復旧工事 36,477千円 ・防災減災ため池整備(県営事業負担金) 6,400千円 · 老朽住宅除却事業費助成 12,305千円 農業水利施設長寿命化(県営事業) 7.649千円 道路メンテナンス事業 153, 275千円 • 防災安全社会資本整備交付金事 106,009千円 道路メンテナンス事業 111,215千円 ・防災安全社会資本整備交付金事 84,727千円 38,357千円 具同保育所移転 2 中心市街地・商店街等の活性化 1. 中心市街地、商店街等の魅力・賑わい づくり 【商工AP10】 (1)回遊性と集客力向上のための拠点づ 〇文化複合施設整備事業 ◆商店街通行者数(平日) ·周辺家屋等事後調査補償費算定業務 4,000千円 四万十市 ◎新たな拠点(旧土豫銀行跡地)によ ・駐車場舗装整備工事(令和5年10月21日~令和6年6月30日) る情報発信の強化と賑わいの創出 H27~H30平均 (生涯学習課・まちづ ⇒ 連携AP2、連携AP8 くり課・観光商工課) ·屋外付帯施設整備工事(令和6年1月5日~令和6年4月26日) 5.338人/日 指定管理者による文化事業 33,578千円 ·案内標識設計業務(令和6年7月20日~令和6年10月21日) 商工会議所 →R6:6.200人/日 ・鑑賞事業(ポップス、クラシック・ジャズ、落語、人形劇、映画) 〇拠点施設間での連携 ⇒ 連携AP 2 ·周辺家屋等事後調査業務(令和6年6月25日~令和6年10月31日) R2:5,824人/日 ・普及育成事業(カルチャー教室、学校アウトリーチ、 R3:4,743人/日 〇文化複合施設を中心とするまちの賑 ·案内標識設置工事(令和6年12月24日~令和7年3月15日) JA高知県 しまんとぴあ施設見学体験) わいづくり ·周辺家屋等事後調査業務(令和6年6月25日~令和7年2月28日) 事業者 R4:4,359人/日 ·創造事業(著名人講師によるWS) 〇文化複合施設活用事業 (仮称) R5:5,859人/日 ・協働事業(市民企画後援事業、しまんとぴあフェスティバル) しまんとぴあ主催・共催事業(指定管理者) 市による文化事業 6, 118千円 ・開館記念式典・美術展(令和6年4月29日) 市展

・こども演劇祭

・金子三勇士ピアノリサイタル(令和6年4月30日)

の柱 策 アクションプラン	— 令和6年度の取り組み状況 — 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	定量的な目標 到達点(R6) 実積(直近)	備考 (定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)概要
主な内容					
分野	・映画上映会(令和6年5月1日) ・夜カフェ(令和6年5月2日) ・まるごとしまんとびあ(令和6年5月3日) ・山崎まさよしスペシャルライブ(令和6年5月4日) ・映画上映会(令和6年5月5日) ・施設開放事業 しまんとホールひとりじめ(令和6年5月6日) ・梶原徹也のリズムあそびワークショップ(令和6年7月13日) ・ぐるっと!しまんとびあ探検隊(令和6年7月30日) ・市民大学 第1回 伊沢柘司(令和6年7月21日) 第2回 谷本道哉(令和6年8月4日) 第3回 木山裕策(令和6年8月4日) 第3回 木山裕策(令和6年8月4日) ・教急フェア×しまんとびあ 矢守教授講演会(令和6年8月31日) 出張!みんなの町の消防隊(令和6年9月7日) ・しまんとびあンネマ倶楽部『PERFECT DAYS』(令和6年9月23日) ・しまんとびあがあチャンネル(YouTube) ・施設開放事業 しまんとホールひとりじめ(令和6年10月19日~22日) ・しまんとびあがあチャンネル(YouTube)・施設開放事業 しまんとホールひとりじめ(令和7年1月3日)(令和7年1月20日~23日)・と対とびあブレシャス・コンサート)(令和7年1月20日~23日)・実践!ボランティア講座(令和7年1月25日~26日)・しまんとびあブレシャス・コンサート 三山ひろし(令和7年2月24日)・しまんとびあがカナティタイム(落語 桂宮治)(令和7年3月20日)・しまんとびあがカナキー倶楽部(年10講座(24コマ))・しまんとびあがあチャンネル(YouTube)・市民企画後援事業 ・しまんとびあのルチャー倶楽部(年10講座(24コマ))・しまんとびあを警展示スペース みちょってひろば (随時)その他賞館に関する業務 市主催・共催事業 ・第20回四万十市文化祭(令和6年7月~令和7年1月) ・四万十川国際音楽祭中村交響楽団定期演奏会(令和6年8月18日)・四万十川国際音楽祭 キュッヒルコンサート(令和6年10月12日)・公共ホール現代ゲンス活性化事業 ・第4年10月12日)・公共ホール現代ゲンス活性化事業 ・(令和6年10月24日~26日) ・美術展(令和6年11月15日~28日)・四万十川国際音楽祭 Jr. 弦楽アンサンブル(令和7年3月9日)				・四万十市芸術祭(旧文化祭) ・国民文化祭2026準備事業(川柳の祭典、第九特別公演)
【商工AP11】 (2) 商店街の機能向上 ○中心商店街活性化協議会の開催 ○商店街空間整備 ○情報発信機能の充実	○中心商店街活性化協議会 開催日:11月19日 ・中心商店街活性化計画に基づく事業の進捗状況等 ○中心市街地にぎわい拠点施設維持管理事業【再掲】 (実施主体:四万十にぎわい商店株式会社) ○地域おこし協力隊事業【再掲】 ・商店街リーダー育成、啓発 リーダーシップセミナー開催(12月、1月、2月) マーケティングセミナー開催(1月、2月)	四万十市 (観光商工課・産業建 設課・まちづくり課) 商工会議所・商工会 商店街振興組合 事業者	◆商店街通行者数(平日) H27~H30平均:5,338人/日 →R6:6,200人/日 R2:5,824人/日 R3:4,743人/日 R4:4,359人/日 R5:5,859人/日		○中心市街地にぎわい拠点施設維持管理事業【再掲】 ・公共部分(公園・トイレ)に係る維持管理費を補助 ○地域おこし協力隊経費【再掲】 (中心市街地活性化1名)

)柱 〔 【クションプラン	令和6年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	定量的な目標 到達点(R 6) 実積(直近)	備考 (定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)概要	要
主な内容						
<u>野</u> (商工AP12】 3) 日常の賑わいにつながる仕組みづく						
○イベント開催等活性化の仕組みづく り	○商店街等活性化事業(モデル事業)【再掲】 土佐中村一條公家行列「藤まつり」開催の支援(5月) (実施主体:中村商工会議所)	四万十市 (観光商工課・産業建 設課	◆商店街通行者数 (平日) H27~H30平均:5,338人/日 →R6:6,200人/日		○商店街活性化モデル事業【再掲】○商店街活性化補助金(各商店街振興組合)【再掲】○商店街等振興計画事業費補助金	[90 [50
○個店のサービス向上	〇よさこい四万十開催 (9月) 【再掲】 〇商店街等活性化事業 【再掲】	商工会議所・商工会 商店街振興組合	R2:5,824人/日 R3:4,743人/日		・チャレンジショップ事業補助金 〇よさこい四万十事業費補助【再掲】	4, 【1,5
○個性が光る店舗の集積	商店街振興組合イベント(納涼祭等)開催支援(8月) (実施主体:天神橋・東下町・中村一条通 各商店街振興組合) ○商店街等振興計画推進事業費補助金 チャレンジショップ事業(実施主体:天神橋商店街振興組合) ・チャレンジャー1名:5月卒業(サービス業)→5月開業 ・チャレンジャー1名:11月開始(サービス業) ・チャレンジャー3集、運営委員会開催(毎月) ○中心市街地にぎわい拠点施設維持管理事業【再掲】 (実施主体:四万十にぎわい商店株式会社) ○中心商店街等活性化事業【再掲】 ・拠点施設を核とした商店街活性化の協議(毎月) ・商店街広報誌作成 ・活性化イベント はれのばマルシェ(4月、6月、8月、10月、12月、2月予定) (実施主体:四万十にぎわい商店株式会社) ・活性化イベント 中心商店街スタンプラリー(11月) (実施主体:四万十市商店街振興組合連合会女性部)		R4:4,359人/日 R5:5,859人/日 ◆商店街の新規出店数 R6:10件/5年 R2:5件/年 R3:1件/年 R4:4件/年 R5:4件/年		〇中心市街地にぎわい拠点施設維持管理事業 【再掲】 ・公共部分(公園・トイレ)に係る維持管理費を補助	[2,7
] 「商工AP13】 I) 空き店舗対策						
○空き店舗情報の発信強化とマッチング機会の提供 ○空き店舗改修等の支援	 ・空き店舗改修支援 申請件数:0件(1月末時点) ・商店街店舗兼住宅改修支援(改修費支援) 申請件数:0件(1月末時点) ○商店街空き店舗調査 	四万十市 (観光商 工課・産業建設課) 商工会議所・商工会 商店街振興組合	◆商店街の新規出店数 R6:10件/5年 R2:5件/年 R3:1件/年 R4:4件/年 R5:4件/年		○空き店舗対策事業補助金 ・空き店舗入居者に対する店舗改修費への支援	
	・市内7商店街振興組合地域の空き店舗調査 ※2月実施予定					
創業や経営革新への支援強化 「商工AP14】						
)経営指導などサポート体制の強化 〇経営指導などサポート体制の強化	 ○商工業者経営改善普及事業(中村商工会議所、西土佐商工会) 商工会議所、商工会、金融機関等関係機関が連携し、経営について トータルサポート ○先端設備等導入計画の認定 ・認定件数7件、変更認定4件(1月末時点) ○中小企業振興資金保証料補給 ○経営改善計画策定等補助金 実績:2件 40千円(小売・卸売) 	四万十市 (観光商工課・産業建 設課) 商工会議所・商工会	◆創業に関する相談件数 H30:30件/年 → R6:45件/年 R2:30件/年 R3:42件/年 R4:36件/年 R5:28件/年		○商工業者経営改善普及事業 (実施主体:中村商工会議所、西土佐商工会) ○中小企業振興資金保証料補給 ○中小企業振興資金利子・保証料補給 (R2・R3実行分)【新型コロナ対策】 ○経営改善計画策定等補助金	9,
商工AP15】 ②創業や経営革新に意欲ある事業者 〈人材)の育成、スキルアップ						
○事業者の育成、スキルアップ	 ○商店街等振興計画推進事業費補助金【再掲】 チャレンジショップ事業(実施主体:天神橋商店街振興組合) ・チャレンジャー1名:5月卒業(サービス業)→5月開業 ・チャレンジャー1名:11月開始(サービス業) ・チャレンジャー募集、運営委員会開催(毎月) 	四万十市 (観光商工課・産業建 設課) 商工会議所・商工会	◆創業に関する相談件数 H30:30件/年 → R6:45件/年 R2:30件/年 R3:42件/年 R4:36件/年		○チャレンジショップ事業補助金【再掲】	【4,9

各の柱	令和6年度の取り組み状況	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	定量的な目標	備考	
5	〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	到達点(R6) 実積(直近)	(定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)概要
アクションプラン			天恨(但 <u>2</u> 2)		
主な内容					
分野					
山間地域の商業機能の確保					
小さな(田舎)ビジネスの推進					
【商工AP16】 1)集落、小グループが取り組むコミュ -ティビジネス等の発掘、育成	主な内容 ○事業者、地域等の提案を拾い上げる体制づくり、○地域ならではのア	イデア、資源を活かした商品開発⇒ 連	携AP 6		
商工AP17】)地域の人、もの、コトの発信	主な内容 ◎地域の人、もの、コトの発信⇒ 連携AP8				
商工AP18】)ビジネスの拠点づくり	主な内容 ○拠点ビジネスの推進⇒ 連携AP2 ◎道の駅「よって西土佐」の根	機能拡充⇒ 連携AP2、連携AP8 →	r四万十牛を核とした西土佐地:	域の産業振興⇒ 連携AP3	
業誘致					
情報通信関連産業の誘致促進					
商工AP19】) 誘致に向けたリサーチ					
○誘致にかかるリサーチ	〇既誘致企業との意見交換	四万十市	◆シェアオフィスへの誘致		〇企業誘致対策
の の の の の の の の の の	〇先進自治体の事例収集	(観光商工課)	企業数		・県と連携した誘致企業の情報収集、アプローチ
	〇企業誘致対策		R6:2社/5年		誘致企業訪問旅費(東京)
	2月 誘致企業訪問(東京)		R2:0社 R3:0社		
	○企業誘致に係る基本方針の検討・策定		R4:0社 R5:0社		
商工AP20】)誘致活動の推進					
○周には新した話みば動の批准	○誘致企業の雇用の促進	四万十市	◆シェアオフィスへの誘致		〇企業誘致対策【再掲】
〇県と連動した誘致活動の推進	誘致企業:ソウルドアウト(株)	 (観光商工課・農林水	企業数		・県と連携した誘致企業の情報収集、アプローチ
〇支援メニューの創設・受入体制づく	立地促進事業費補助金(2, 250千円)	産課)	R6∶2社/5年		誘致企業訪問旅費(東京)
	〇企業誘致対策【再掲】		R2:0社 R3:0社		65000000000000000000000000000000000000
,					
	2月 誘致企業訪問(東京)		R4:0社 R5:0社		
			◆次世代施設園芸等への誘		
			致企業数		
			H30:0社 → R6:1社		
			R2:0社 R3:0社		
			R4:0社 R5:0社		
			◆既誘致企業での雇用者数		
			R6:80名/5年		
			R2:42人 R2:53人		
			R4:59人 R5:38人		
			1.4.00% 110.00%		
別遊休施設等を利活用したシェアオ イス等の整備					
〇シェアオフィス等の整備	〇企業誘致対策	四万十市(観光商工	◆シェアオフィスへの誘致		
	・企業誘致勉強会へ参加(シェアオフィス等)	課)	企業数		
I		I	l parati/		i e

R6:2社/5年 R2:0社 R3:0社 R4:0社 R5:0社

・シェアオフィス整備の情報収集及び検討

カード 1 中市産業振興計画 アクションブ・	ラン進捗管理シート 【令和6年度】		·		,	
路の柱			定量的な目標			
施策	→ 令和6年度の取り組み状況	→ か 車 ※ → /↓	足量的な日標 到達点(R6)	備考		5
	→ 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体		(定性的な目標、課題など)	市和/年及ヨ例ア昇(取り組み) 慨多	ζ
アクションプラン			実積(直近)			
主な内容						
:分野						
			 			
滞在型の観光地づくり						
1. 地域の観光資源、フィールドを活かし た滞在型の観光商品づくり						
【観光AP 1】	主な内容					
(1) 観光リサーチの徹底 【観光AP 2】	○観光マーケティングリサーチ⇒ 連携AP 7					
(2) 今ある観光商品の磨き上げ	〇西土佐地域地産地消推進協議会(6、7、9、11、2月)					
【観光AP3】 (3)新たな観光商品づくり	主な内容 ○観光商品づくり研修会等の開催、○異業種連携の強化⇒ 連携AP7					
【観光AP4】 (4)食の魅力を活かした観光振興	主な内容 ○食の魅力を活かした観光地づくり、★自然・体験型の観光と歴史や文化、食とが一位 ★四万十牛を核とした西土佐地域の産業振興⇒ 連携AP3	となった観光プログラ	ムの造成・発信及び販売〇食の	発信・普及イベント等の開催⇒ 連携	AP11	
2. 広域連携による周遊観光の推進						
【観光AP 5】	主な内容		100			
(1) 広域連携による周遊観光の推進 観光商品の外商の推進	○周遊観光プランの造成・発信及び販売⇒ 連携AP7 ○広域連携によるキャ	ンペーンの展開⇒ 連携/ T	1 1			
1. 観光商品のセールス及び情報発信の強 ヒ						
【観光AP 6】	主な内容					
(1) 観光商品のセールス強化	○営業力のある人材、組織の育成、○旅行会社への営業活動の促進、○旅行商品商談会	会等への出展、〇海外へ	の営業活動の促進⇒ 連携AP9			
【観光AP 7 】 (2) 広報・プロモーションの強化	主な内容 ○多様な媒体を活用した広報活動の強化、○ターゲットに合わせたプロモーションの原 ◎産業間連携や広域連携による誘客(PR)活動⇒ 連携AP9、連携AP11	展開⇒ 連携AP9 ()一元的な情報発信の促進⇒ 連	携AP8、連携AP9、連携AP11		
おもてなしの向上						
1. おもてなし環境の整備						
【観光AP8】 (1)四万十川流域観光の拠点施設の整 備、機能強化						
	〇入田ヤナギ林整備	四万十市(観光商工	◆公設観光施設等利用者数		〇観光振興推進総合支援	18, 412千
〇拠点施設の拡充、機能強化		理)	H30:162, 247人			
	・草刈、刈草収集、焼却、木取り(7~9月)	本/			〇四万十いやしの里管理運営	25, 733 T
	・耕運、木取り、周辺整備、草刈り、遊歩道整備(10~2月)	観光協会	→ R6:170,000人		〇四万十川学遊館管理運営	26, 139 千
	○観光拠点施設整備		R 2:128,018人		〇かわらっこ管理運営	5, 969 千
			R3:147.689人			4, 894 T
	- ・四万十川学遊館 バックヤード空調修繕業務(1,300千円)		1 ' ' ' 1		〇入田ヤナギ林整備	
	多目的室空調修繕業務(1,172千円)		R4:179,732人		〇キャンプ場ほか観光公衆トイレ管理運営	6, 560 千
	雨樋等修繕業務(796千円)		R5:176.448人		〇四万十パーク管理	3, 571 千
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		1 170, 4407			
	・いやしの里 ★駐車場舗装工事(14,377千円)				〇カヌー館関連施設等管理運営	6, 353 T
	露天濾過ポンプバルブ修繕業務等(10,590千円)					
	★外国人観光客向け看板設置(1,298千円)					
	・かわらっこ ★外国人観光客向け看板設置、電子決済機器設備等(1,114千円)					
【観光AP9】 (2)二次交通の充実						
○□次交通の運行形能の目直Ⅰ・垃圾	で ○四万十川バス運行(中村駅⇔沈下橋⇔江川崎駅)	四万十市(観光商工	◆二次交通利用者数		〇四万十川バス運行(観光振興推進総合支援)	6, 539千
		四ク・中へ既ル何上	1			, 1
	・年間131日運行〔4~11月・3月の土・日・祝及び GW (4/27~5/6)	IA.	H30:6, 164人		・中村駅~江川崎駅間	
	、夏休み (7/20~8/31) 、春休み (3/15~3/31) 〕	観光協会	H31:6,513人		GW、夏·春休み、土日祝日の138日間(1日1往復)	
	〇市内循環バス (しまんとあかめ号) の運行	幡多広域観光協議会	→ R6:10.000人		工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	
	1	西ン14%単ルル 加成式	1 ' ' ' ' 1		1	0 500
	・年間131日運行〔4~11月・3月の土・日・祝及び GW (4/27~5/6)		R 2:3,135人		○循環周遊バス(しまんとトロリーバス)の運行	6, 596 T
	、夏休み(7/20~8/31)、春休み(3/15~3/31)〕		R3:2,374人		(観光振興推進総合支援)	
	· 中村駅⇒宿泊施設⇒佐田沈下橋⇒郷土博物館⇒学遊館⇒中村駅		R 4:3,372人		・市街地及び郷土博物館、周辺観光地を結ぶ周遊	
			R 5:4.715人		GW、夏·春休み、土日祝日の138日間(1日4便)運行	
	○しまんと・あしずり号		10.4,710人			
					〇周遊観光バスしまんと・あしずり号運行	2, 500 T
	・GW、夏休み、春休み、土日祝日等の279日間運行(1日コース164日、半日コース136日)		1		(事業主体:幡多広域観光協議会)	
	(四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十市)		1		(T	
	(四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十市)					
	(四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十市) 〇予土県境地域連携実行委員会【再掲】				・GW、夏休み、春休み、土日祝日等の運行	 -\
	(四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十市)					·市)
	(四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十市) 〇予土県境地域連携実行委員会【再掲】				・GW、夏休み、春休み、土日祝日等の運行	市)
	(四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十市) 〇予土県境地域連携実行委員会【再掲】 予土県境サイクルツーリズムの推進 ・サイクリングの魅力情報発信、サイクルトレイン事業				・GW、夏休み、春休み、土日祝日等の運行 (四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十	市)
	(四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十市) 〇予土県境地域連携実行委員会【再掲】 予土県境サイクルツーリズムの推進 ・サイクリングの魅力情報発信、サイクルトレイン事業 ・予土まちサイクルデジタルスタンプラリー(7月~12月)				・GW、夏休み、春休み、土日祝日等の運行 (四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十	市)
	(四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十市) 〇予土県境地域連携実行委員会【再掲】 予土県境サイクルツーリズムの推進 ・サイクリングの魅力情報発信、サイクルトレイン事業 ・予土まちサイクルデジタルスタンプラリー(7月~12月) よって西土佐コース:自然・観光・穴場スポットの設定				・GW、夏休み、春休み、土日祝日等の運行 (四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十	市)
	(四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十市) 〇予土県境地域連携実行委員会【再掲】 予土県境サイクルツーリズムの推進 ・サイクリングの魅力情報発信、サイクルトレイン事業 ・予土まちサイクルデジタルスタンプラリー(7月~12月)				・GW、夏休み、春休み、土日祝日等の運行 (四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十	市)
	(四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十市) 〇予土県境地域連携実行委員会【再掲】 予土県境サイクルツーリズムの推進 ・サイクリングの魅力情報発信、サイクルトレイン事業 ・予土まちサイクルデジタルスタンプラリー(7月~12月) よって西土佐コース:自然・観光・穴場スポットの設定				・GW、夏休み、春休み、土日祝日等の運行 (四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十	市)

	プン進捗官座ノード 【节和ひ午度】			I	I	
分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主な内容	令和6年度の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	主な事業主体	定量的な目標 到達点(R 6) 実積(直近)	備考 (定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)概要	
観光分野 【観光AP10】 (3) 周遊しやすい環境の整備						
○観光案内機能の充実 ○一元的な情報発信の促進 《連携AP8、連携AP9、連携AP11》	 ○四万十市観光協会の案内機能の充実 ・雑誌・新聞・TV等への情報提供、SNSでの発信強化 ・観光案内用タブレット(R3導入)の活用促進 ・外国人観光客向けポケトーク(R4導入)の活用促進 〇観光客誘致宣伝活動 ・四万十市観光ガイドブック等作成、送付など ・観光案内マップの多言語化(最新情報に更新) ★四万十市観光パンフレットリニューアル業務 	四万十市(観光商工課・関係課) 観光協会 幡多広域観光協議会		◆周遊しやすい環境づくりが進み観光 誘客につながっている	○観光客誘致宣伝活動【再掲】	【4,593千円】
2. おもてなしサービスの充実						
【観光AP11】 (1) 観光地としての市民意識の醸成と浸 透						
○市民の参画意識の醸成	 ○地域おこし企業人交流プログラム(ANA総合研究所から1名招致) ・R5にて活動終了 ○入田ヤナギ林の整備【再掲】 一斉清掃(10月)、花まつり会場清掃、草刈り、遊歩道整備(2月) ○小中学校・高等学校との連携 職場体験の受入等(1回) 総合学習での講義等(6回) ボランティア活動の推進 ○小京都ゆかたDAY(7月5日:15団体・店舗、104人参加) ○トンボ公園整備ボランティア 花菖蒲整備(5月→雨天中止) スイレン根抜き、草刈り作業(1月、2回) 	四万十市(観光商工課) 観光協会		◆観光地であることを広く市民が認識 し、おもてなし意識と地域の魅力を伝 えられる市民が増えている		
【観光AP12】 (2) リピーター確保に向けた取り組み (特典の充実)						
〇おもてなし感が感じられる仕組みて くり	○地域活性化起業人(地域おこし企業人交流プログラム) 【再掲】 ・R5にて活動終了 ○ONSEN・ガストロノミーウォーキング企画 ・観光振興連絡会議及び関係団体と連絡会の開催(11回) ○情報発信(インスタグラム投稿他) ・紫陽花、花火大会等 計7回投稿 ⇒R7年度より企画広報課シティプロモーション推進係へ移管 ○バリアフリー観光セミナー(6月) ・講師による障害がある方への接し方、誘導方法等を学ぶセミナー (14団体、22名)	四万十市 (観光商工課) 観光協会 四万十市観光振興連絡 会議 西土佐観光推進協議会 四万十市体験型観光受 入研究会		◆商工業分野等との連携による多様な 仕組み、サービスが生まれている		
4 組織力の強化と観光リーダーの発掘・育成						
1. 観光関連事業者のスキルアップ 【観光AP13】 (1) 観光関連組織の役割分担と組織力の 強化						
〇役割分担の明確化とスキル・組織力の強化 〇コーディネーターの育成	〇四万十・足摺エリア版 D M O による広域観光推進連携事業 【再掲】 (実施主体:幡多広域観光協議会) ・商談会(14回 146社) ・モニターツアーアテンド(一般旅行3回、教育旅行1回)	四万十市(観光商工 課) 観光協会 幡多広域観光協議会		画、営業力等)が向上し、観光誘客の拡大につながっている ◆観光協会の案内機能	・観光協会観光案内所、臨時観光案内所での観 光動向等	【7,200千円
	 ・団体旅行受入(17団体) ・教育旅行セールス(関東35社、関西14社) ・教育旅行受入(7校) ・教育旅行下見(1校) ・教育旅行商談会(2回 17社) ・インバウンド関連 教育旅行学校説明会(台湾 1回49校) 			R6:強化	○幡多広域観光協議会負担金【再掲】(事業主体:幡多広域観光協議会)「幡多広域観光振興計画」に基づき、高知県の自然・体験型観光キャンペーンと連携した事業を展開	【10,718千円】

十市産業振興計画 アクションプ ⁻	ラン進捗管理シート 【令和6年度】					
格の柱 施策 アクションプラン 主な内容	- - 令和6年度の取り組み状況 - 〈数量的に見える形で具体的に記載〉 -	主な事業主体	定量的な目標 到達点(R 6) 実積(直近)	備考 (定性的な目標、課題など)	令和7年度当初予算(取り組み)概	要
—————————————————————————————————————						
	 ・インバウンド関連 団体旅行商談会(台湾 1回9社) ・インバウンド関連 旅行会社向けセミナー(マレーシア 1回30社) ・インバウンド関連 観光PRキャラバン(シンガポール 1回) ・観光PRキャラバン(4回) ・ツーリズムEXPOジャパン(東京) ・フィッシングショーOSAKA2025(大阪) ・GSTCトレーニング受講 ・宿泊アンケート調査 					
【観光AP14】 (2) 異業種との交流・連携の促進	主な内容 ○異業種連携の強化⇒ 連携AP 7					
. 観光人材の育成、確保						
【観光AP15】 (1) 地域の観光リーダーの育成						
○地域のキーマンの発掘、育成	〇四万十市体験型観光受入研究会 ・田舎暮らし体験受け入れ 5月 常翔啓光学園中学校 32人 6月 開成高等学校 55人 11月 台湾教育旅行視察 8人 3月 豪州・新西蘭・太平洋島嶼国 19人・令和6年度四万十市体験型観光受入研究会総会開催 (5月)・受入家庭数 (令和7年1月):35軒	四万十市(観光商工課·関係課) 観光協会 幡多広域観光協議会 四万十市体験型観光受入研究会	◆教育旅行受入家庭数 H29:49軒→ R6:65軒 R2:52軒 R3:52軒 R4:13軒 R5:31軒	◆地域で核となる観光人材が育成されている	、○四万十市体験型観光受入研究会【再掲】 ○幡多広域観光協議会負担金【再掲】 (実施主体:幡多広域観光協議会) 「幡多広域観光振興計画」に基づき、高知県の自 然・体験型観光キャンペーンと連携した事業を展開	【10,718
【観光AP16】 (2) 将来の担い手の発掘・育成						
○インストラクター、ガイドの育成○ボランティア等の受け入れ	〇四万十市体験型観光受入研究会【再掲】 ・田舎暮らし体験受け入れ 5月 常翔啓光学園中学校 32人 6月 開成高等学校 55人	四万十市(観光商工課)		◆観光人材の育成、レベルアップが図られている ◆観光の担い手確保につながっている		【10,718 -
	11月 台湾教育旅行視察 8人 3月 豪州・新西蘭・太平洋島嶼国 19人 ・令和6年度四万十市体験型観光受入研究会総会開催 (5月) ・受入家庭数 (令和7年1月):35軒 〇バリアフリー観光セミナー (6月) 【再掲】 ・講師による障害がある方への接し方、誘導方法等を学ぶセミナー	幡多広域観光協議会 四万十市体験型観光受 入研究会			「幡多広域観光振興計画」に基づき、高知県の自然・体験型観光キャンパーンと連携した事業を展開 〇四万十川を活用した魅力向上事業補助金【再掲】 (実施主体:四万十市観光振興連絡会議) ・花と食をテーマとした観光イベント(四万十 川花紀行等)の開催、検証等	【1,450 ⁻
	(14団体、22名) ○観光ガイドミーティング(4回) ・L0IL0Iしまんとミーティング(4月、6月、9月、11月) ○トンボ公園整備ボランティア【再掲】 ・花菖蒲整備(5月→雨天中止) ・スイレン根抜き、草刈り作業(1月、2回)				〇地域おこし協力隊経費(観光振興1名)【再掲】	[5,095